大木町総合体育館空調設備等機能改善工事

図　面　目　録

＜　建　築　図　＞		＜　電気設備図　＞		＜　機械設備図　＞	
Ａ－０１	表紙・図面目録	Ｅ－０１	電気設備　特記仕様書	Ｍ－０１	機械設備　特記仕様書（１）
Ａ－０２	特記仕様書（１）	Ｅ－０２	受変電設備　単線結線図（１）	Ｍ－０２	機械設備　特記仕様書（２）
Ａ－０３	特記仕様書（２）	Ｅ－０３	受変電設備　単線結線図（２）	Ｍ－０３	空冷空調設備　機器表・系統図
Ａ－０４	特記仕様書（３）	Ｅ－０４	幹線設備　配置図・１階平面図	Ｍ－０４	空冷空調設備　１階平面図
Ａ－０５	附近見取図・配置図	Ｅ－０５	幹線設備　２階平面図	Ｍ－０５	空冷空調設備　２階平面図
Ａ－０６	１階平面図	Ｅ－０６	幹線設備　屋根伏図	Ｍ－０６	輻射空調設備　機器表
Ａ－０７	２階平面図	Ｅ－０７	自家発電設備　計算書	Ｍ－０７	輻射空調設備　系統図
Ａ－０８	天井伏図	Ｅ－０８	自家発電設備　仕様書・結線図・機器姿図	Ｍ－０８	輻射空調設備　１階平面図
Ａ－０９	建具表	Ｅ－０９	自家発電設備　給油ユニットボックス・燃料タンク外形図	Ｍ－０９	輻射空調設備　チラー廻り配管要領図
Ａ－１０	雑詳細図	Ｅ－１０	自家発電設備　地下タンク外形図・躯体構造図	Ｍ－１０	空調設備　制御平面図
Ａ－１１	床割付図	Ｅ－１１	新設分電盤結線図	Ｍ－１１	空冷空調設備　展開図（１）
Ａ－１２	コートライン図	Ｅ－１２	既設分電盤結線図（改修後）	Ｍ－１２	空冷空調設備　展開図（２）
Ａ－１３	回転圧入鋼管杭特記仕様書（１）	Ｅ－１３	既設分電盤結線図（改修前）		
Ａ－１４	回転圧入鋼管杭特記仕様書（２）・杭リスト	Ｅ－１４	電灯・動力設備　１階平面図		
		Ｅ－１５	天井解体復旧工事付随電気設備工事		

備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	Ａ－１	NON	Ａ－０１
図面名称：表紙・図面目録	Ａ－３	NON	日付

建　築　工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1．工事名称　　大木町総合体育館空調設備等機能改善工事

2．工事場所　　福岡県三潴郡大木町八町牟田 617-1

3．工事概要

4．別途工事　　・　　・

5．その他

Ⅱ　建築工事仕様

1．標　準　仕　様

図面及び特記仕様に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」による。

2．特　記　仕　様

1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と※印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。

4）形状寸法の単位は特記なきかぎりミリメートルとする。

章	項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 適用基準等

⊙建築工事標準詳細図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・建築鉄骨設計基準・同解説　　建設大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・擁壁設計標準図　　建設大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙鉄筋コンクリート構造配筋要領　　建設大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
・木造建築工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）
⊙公共建築工事標準仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版）

② 適用範囲等

すべての設計図書は、相互に補完するものとする。（1．1．1）
ただし、設計図書間に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の（1）から（5）の順番のとおりとする。
（1）質問回答書　（（2）から（5）に対するもの）
（2）現場説明書
（3）特記仕様書
（4）図面
（5）公共建築工事標準仕様書（以下「標仕」という。）

③ 電気保安技術者

※適用する　・適用しない　（1．3．3）

④ 発生材の処理

建　設　副　産　物　の　処　理　に　つ　い　て

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。
現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別し指定された場所へ集積すること。
また、施工区分表に積み込み・運搬・処分までの指示がある工事については、現場内に分別保管場所（他業者の分別したものを含む）を設置するとともに、再生資源の利用の促進に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。
「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（平成１２年５月３１日法律第１０４号）」規定されている事項について、建築工事における対応については、「建築工事における建設副産物管理マニュアル（平成１８年６月１２日付国営環第４号」による。
工事に際しては、工事着手時に建設副産物処理計画書、再生資源利用計画書等を、工事竣工時に建設副産物の処理結果報告書、再生資源利用実施書等を提出すること。

指定副産物　（原則として再資源化施設へ持込むもの）
⊙がれき類　（コンクリート塊）（アスファルト塊）　⊙木くず
⊙建設発生土　⊙汚泥
指定副産物の工事現場からの搬出、再生資材等の利用等については、「リサイクル原則化ルール（平成１８年６月１２日策定）」により実施する。
建設汚泥については、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン（平成１８年６月１２日事務次官通知）」に従い、建設汚泥の再生利用を推進する。

その他の副産物
⊙廃プラスチック　⊙ガラス、陶磁器くず　⊙廃石こうボード
⊙金属くず　⊙繊維くず

特別管理産業廃棄物
・廃石綿等
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」及び「石綿障害予防規則（平成１７年７月１日施行）」に従い、収集、運搬、処分を行う。
・廃ＰＣＢ等
「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適正に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

⑤ 技能士

適用工事

工事範囲（契約単位）			工　事　種　別	技能士名称
木造以外の建物	住　宅	２０戸以上	⊙鉄筋工事	鉄筋施工
			⊙コンクリート工事	型枠施工
			⊙木工事	建築大工
			⊙左官工事	左官
	住宅以外の建物	１，５００㎡以上	⊙塗装工事	塗装
			⊙屋根及び樋工事	建築板金
			⊙内装工事	内装仕上げ施工
			⊙内装工事	表装
			⊙金属工事	内装仕上げ施工（鋼製下地）
造園工事		請負額　300万以上	・植栽工事	造園

⑥ 建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を得る。
なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機器等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」による。
福岡県認定リサイクル製品の使用については、「福岡県認定リサイクル製品（建設資材）建築都市部利用の手引き」によることとし、使用製品名及び使用部位については、現場説明書によること。

環　境　へ　の　配　慮　に　つ　い　て

・「国による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」により、環境負荷の低減できる材料を選定すること。
・使用する材料の選定にあたっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
・工事に使用する材料は、アスベストを含有しない物とする。
・指定品目、判断基準は「平成１９年度福岡県環境物品等調達方針」によること。

⑦ 特別な材料の工法

「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑧ 設計ＧＬ

※図示による　・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による

⑨ 文化財その他埋蔵物

工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。その後の措置については、監督員の指示に従う。（1．1．12）

⑩ 施工中の安全確保

建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか、建設工事公衆災害防止対策要綱に従うとともに、建築工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

⑪ 施工中の環境保全等

建築基準法、建設リサイクル法、環境基本法、騒音規制法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物処理法、土壌汚染対策法、資源有効利用促進法その他関係法令等に定めるところによるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。

排　出　ガ　ス　対　策　型　建　設　機　械　に　つ　い　て

「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された建設機器を使用すること。
（対象機種：バックホウ、ブルドーザ、トラクターショベル（車輪式）、空気圧縮機（可動式）、油圧ユニット（油圧ハンマ・アースオーガ゛油圧式鋼管圧入引抜機・油圧式杭圧入引抜機アースオーガ・オールケーシング掘削機・リバーサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング゛掘削機の基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの）、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーン、発電発動機（可動式（溶接兼用機を含む））但し、以上はディーゼルエンジン（エンジン出力７．５Ｋｗ以上２６０Ｋｗ以下）を搭載したものに限る。）

⑫ 過積載の防止

ダンプトラック等による工事用資機材等の超過積載を行わないこと。さし枠の装置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に出入りさせないこと。

⑬ 原形復旧

工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は原形に復する。

⑭ 設備工事との取合い

※施工区分表による
・施工範囲は下記による
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強
※駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・（　　）
施工図　設備機器の設置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

⑮ 総合図での調整

各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。
総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別途発注工事業者の情報などをすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。
総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事・その他の請負者がそれに協力する。

⑯ 工事写真等

箇所及び方法については、監督員の指示による。

区　分	分　類	規　格	部数	原版の大きさ	備　　考
※着工前	※カラー ・モノクロ	※サービス版 ・	※１部 ・	２４×３６以上又は デジタル画像	監督員の承諾する撮影者
※施工中	※カラー ・モノクロ	※サービス版 ・	※１部 ・	２４×３６以上又は デジタル画像	監督員の承諾する撮影者
※完成時	※カラー ・モノクロ ・	※キャビネ版 ※サービス版 ・	※２部 ・１部 ・３部	・１００×１２５以上 ※２４×３６以上	外観４面、内部監督員指示
	・ｶﾗｰｽﾗｲﾄﾞ ・		・ ・	２４×３６以上	

建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」改訂第２版による

⑰ 完成図

種類及び記入内容　（1．7．2）
⊗「標仕」表1．7．3による　⊙（ ＣＡＤデーター　）

⑱ 保全に関する資料

「標仕」1．7．3（ａ）の他、下記について必要事項を記入の うえ監督員に提出する。
建設大臣官房官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」（（財）建築保全センター発行）
提出部数　※　２　部　・（　）部　（1．7．3）

⑲ 工事実績情報の登録（工事カルテ）

請負者は、工事請負額が５００万円以上の工事について、受注時は契約後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、完成時は完成後１０日以内に、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、「工事カルテ」を作成し、建築都市管理課契約係の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターにフロッピーディスクにより提出しなければならない。
また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを建築都市管理課契約係に提出しなければならない。
ただし、工事請負金額が５００万円以上２，５００万円未満の工事については、発注・訂正時のみの登録で、変更・完成時には登録は行わない。
問い合わせ先　（1．1．4）
〒８１２－００１６　福岡市博多区博多駅南１－３－１１博多南ビル８階
（財）日本建設情報総合センター九州地方センター
ＴＥＬ　０９２－４１１－３４７３　ＦＡＸ　０９２－４１１－３４８６

20．マイクロフィルム及びデジタル変換データについて

請負者は、完成時に完成図を県の仕様のマイクロフィルム及びデジタル変換データに記録して提出する。
提出部数　※１部　・（　）部

㉑ 竣工後の調査

竣工後（※２　・１）年以内に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告して提出する。

22．その他

建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事
・８章　・９章　・１０章　・１３章　・１４章　・１６章　・１７章
・風速　（Ｖｏ＝　　）
・地表面粗度区分　（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　）

② 仮設工事

1．監督員事務所　※設ける　（　　）㎡程度　・設けない　（2．3．1）
備品については監督員の指示による。
現場事務所は、別途発注の電気設備・機械設備も使うことを考慮すること。
また、建築主体とし電気設備・機械設備を主導し定例会議等の調整を行うこと。

② 工事用水　構内既存の施設　⊙利用できる（※有償　・無償）　※利用できない

③ 工事用電力　構内既存の施設　⊙利用できる（※有償　・無償）　※利用できない

④ 総合仮設計画書　※要する　・要しない

⑤ 危険防止
1）仮囲い等　・設けない　※設ける
・（　　）
ゲート　・シート（Ｗ ＝　　ｍ ）　⊙パネル（Ｗ ＝ ６ ｍ ）
・ハンガー（Ｗ ＝　　ｍ ）
垂直防護施設　・メッシュシート　・防炎シート　・枠付き金網
・防音シート　・アルミ防音パネル　・（　　）
水平防護施設　・防護棚（朝顔）　・ダブルネット　・（　　）
防護施設等取付足場
・単管一本足場　・枠組本足場（Ｗ ＝ ）　・くさび式緊結足場（　　）
設置範囲　※図示による　・監督員の指示による
設置期間　※工事期間中　・監督員の指示による

手　す　り　先　行　足　場　に　つ　い　て

足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省平成21年4月）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。

6．構　台　養生構台　・設置する（図示による）　・設置しない
乗入れ構台　・設置する（幅員　　ｍ、長さ　　ｍ）　・設置しない

⑦ 工事表示板等　監督員の指示による。

⑧ 工事車両の出入口　工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。
交通誘導員　※配置する（　１　名以上）　・配置しない

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土　種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　（3．2．3）

② 建設発生土の処理　※現場説明書による　・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷き均し　（3．2．5）
⊙構外搬出

採　石　法　の　適　用　に　関　す　る　協　議　に　つ　い　て

敷地内において真砂土を採取した場合でも、面積、量及び現地の状況などにより、採石法（昭和２５年法律第２９１号）の適用を受ける場合があるため、十分注意すること。

④ 地業工事

① 既製コンクリート杭及び鋼杭地業　（4．3．2）（4．4．2）

杭の種類	規格、材質など	長さ（m）	断面寸法	継手及び継手形状	先端部形状
⊙鋼管杭	・ＳＴＫ490			※なし ⊙あり ※溶接式 ・（　　）	※閉そく平たん形 ・開放形 ・閉そく形 ・（　　）
・拡径断面を有する遠心力高強度ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ杭	ＪＩＳ規格品又は建築基準法に基づく杭 ※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種			※なし ・あり ※溶接式 ・（　　）	※閉そく平たん形 ・開放形 ・閉そく形 ・（　　）

杭の施工法
・打込み工法　（4．3．3）
※プレボーリング併用打撃工法
プレボーリングの掘削深さ（m）及び径　深さ（　m）　径（　）
杭打機　※油圧パイルハンマー　・（　　）
・打撃工法
杭打機　※油圧パイルハンマー　・（　　）
長期設計支持力　（　　ｋＮ／本）
・特定埋込み杭工法　（　　工法）　（4．3．5）
※建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの
・セメントミルク工法　（4．3．4）
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ　※　１．５ｍ　・（　　ｍ）

2．場所打ちコンクリート杭地業
鉄筋の種別　※異形鉄筋　（4．5．3）
コンクリートの種別　・Ａ種　・Ｂ種　（表4．5．1）
セメント　※高炉セメントＢ種　・（　　）
掘削工法　（4．5．4）
・アースドリル工法　・リバース工法　・オールケーシング工法
孔壁測定装置　・使用する（※超音波　・（　　））　・使用しない

3．試験杭
杭の位置　※図示による　・（　　）　（4．2．2）
杭の本数　※図示による　・最初の１本
杭の種類　※本杭と同じ　・（　　）
杭の寸法　長さ（m）　※本杭と同じ　・（　　）
断面寸法　※本杭と同じ　・（　　）
長期設計支持力　（　　ｋＮ／本）

4．試験堀
試験堀の位置　※図示による　・（　　）
試験堀の本数　※図示による　・（　　）
試験堀の径　※本杭と同じ　・（　　）

⑤ 砂及び砂利地業　材料　※再生クラッシャラン　・切込み砂利　・切込み砕石　（4．6．2）（4．6．3）
厚さ　※６０　・（　　）

⑥ 捨てコンクリート地業　厚さ　※５０　・（　　）　（4．6．4）

7．床下防湿層　※ポリエチレンフィルム　厚さ　※０．１５　・（　　）　（4．6．5）

8．杭の載荷試験
・杭の載荷試験　（4．2．3）
・鉛直載荷　・載荷
・地盤の載荷試験　（4．2．4）
・平板載荷試験　・（　　）

9．六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）
※行わない　・行う
記に示す工種について、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数：
地盤改良工　固結工法　：　配合設計段階　検体、施工後段階　検体
表層安定処理工法　：　配合設計段階　検体、施工後段階　検体
路床安定処理工法　：　配合設計段階　検体、施工後段階　検体
合計　検体

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類　材質　※ＪＩＳ　Ｇ　３１１２　・建築基準法第３７条の規定に基づき認定を受けたもの　（5．2．1）

種　類	⊙ＳＤ２９５Ａ	・ＳＤ３４５	・ＳＤ３９０	・	・
径	構造図に依る	構造図に依る	構造図に依る		

② 鉄筋の継手　（5．3．4）

接合方法	部　位	径	備　考
・ガス圧接・重ね継手・溶接継手 ・機械式継手　・（　　）	梁の主筋	※Ｄ１９以上　・	
※重ね継手　・（　　）	その他	※Ｄ１６以下　・	

3．杭頭の補強方法　・Ａ形　※Ｂ形

4．帯筋　※Ｈ形　・Ｗ－Ｉ形　・ＳＰ形　・（　　）　（別図2．2）

5．壁開口部補強の種別　一般壁　・Ａ形　※Ｂ形　（別図4．4）
耐震壁　・Ａ形　※Ｂ形　・（　　）

6．土間スラブ打継ぎ補強　※入れる　・入れない
補強箇所　※Ｓ形配筋のスラブ

7．土間コンクリート補強　※入れる　・入れない
補強箇所　・土間コンクリート　・犬走り　・（　　）

8．はり貫通孔　補強形式　※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　・（　　）　（別図7．1）
スリーブの材種　※溶融亜鉛メッキ鋼板　・硬質塩化ビニル管

9．溶接金網　※ＪＩＳ　Ｇ　３５５１規格品　（5．2．2）
形状（　　）　寸法（　　）　径（　　）

10．圧接完了後の試験　※外観試験　（5．4．9）
※抜取り試験（※超音波探傷試験　・引張試験）

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの製造種別　（6．1．1～）
JIS Ａ ５３０８　（レディーミクストコンクリート）による　（6．2．1～）

② レディーミクストコンクリートの種別　※Ⅰ類　・Ⅱ類　（6．2．1表）　（6．2．1）

③ セメントの種類　※普通ポルトランドセメント　・早強ポルトランドセメント（6．3．2表）　（6．3．2）
・高炉セメントＢ種（※場所打ちコンクリート杭　・　　）
・（　　）

④ 骨材　６章３節３（骨材）による。　（6．3．3）
骨材は、JIS Ａ ５３０８による『骨材のアルカリ反応性試験方法（科学方法）』又は、『セメント骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）』による試験により安全と認められた骨材を使用する
アルカリシリカ反応性による区分　※Ａ
細骨材の塩化物含有量　※０．０４%以下

⑤ 混和材料　混和材　※ＪＩＳ　Ａ　６２０４によるＡＥ剤、ＡＥ減水剤、高性能ＡＥ減水剤　（6．3．5）
ただし、Ｆｃ＝２７N/mm2以上の場合は、高性能ＡＥ減水剤とする

⑥ コンクリート中の塩化物含有量　塩化物イオン量として、０．３kg/m3以下とする　（6．5．4）

⑦ 普通コンクリートの調合及び調合管理強度
設計基準強度Ｆｃ(28日圧縮強度)（N/mm2）

設計基準強度（Ｆｃ）　Ｎ／㎟	類　別	１８	２１	２４			
普通コンクリート	部　位	図面に依る					
軽量コンクリート　・１種・２種	部　位						

＃呼び強度については、設計基準強度（Ｆｃ）に６．３．２表で定める構造体強度補正値（S)を加えた値以上とする
スランプ（ｃｍ）　※基礎、基礎梁、土間　１５，１８ｃｍ　（許容差は６．５．１表による）
※柱、梁、スラブ、壁　１８ｃｍ
単位水量　※１８５kg/m3以下
単位セメント量　※２７０kg/m3以上
水セメント比の上限値　※６５％　（高炉セメントＢ種　６０％）
所要空気量の目標値　※４．５％

8．構造体強度補正値（S）　※６．３．２表による（Ｓ＝３または６）　（6．3．2）

⑨ 報告書　施工計画報告書及び施工結果報告書を監督員に提出すること　（6．9．1～）

10．無筋コンクリート　６章１３節（無筋コンクリート）による　（6．14．1～）
設計基準強度　Ｆｃ＝１８（N／mm2）
粗骨材の最大寸法はコンクリート断面の最小寸法の１／４以下、かつ４０mm以下とする。
※捨コンクリート　・ラップルコンクリート

⑪ コンクリート面の仕上げ等　（6．2．5）
コンクリート部材の位置および断面寸法の許容差並びにその測定方法は６．２．３表による
コンクリート仕上げ面の種別及び平たんさは、６．２．４表による

⑫ 型枠及びせき板の種別　・Ａ種　※Ｂ種

⑬ 施工　打放しコンクリート仕上げの出隅は面取り材を取付け、寸法については監督員と協議すること

⑭ 型枠の存置期間　６章８節５（型枠の存置期間及び取外し）による
基礎・梁側・柱及び壁のせき板存置期間は６．８．２表によりコンクリートの材齢、又はコンクリートの圧縮強度により定める。なお、圧縮強度により定める場合は、コンクリートの試験結果の資料により、監督員の承諾を受ける。
（6．8．2表）

	セメントの種類 ＼ 存置期間中の平均温度	施工場所：基礎、梁側、柱、壁 早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 混合セメントのＡ種	高炉セメントＢ種
コンクリートの材齢による場合（日）	１５℃以上	2	3	5
	5℃以上	3	5	7
	0℃以上	5	8	１０
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が５Ｎ／mm2となるまで		

備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A－1	NON	A－０２
図面名称：特記仕様書（１）	A－3	NON	日付

7 鉄骨工事

（１節　一般事項）

1．鉄骨製作工場 (7.1.3)
・Ｓグレード　・Ｈグレード　・Ｍグレード　・Ｒグレード　・Ｊグレード
※監督員の承諾による

2．施工監理技術者 (7.1.4)
※要　　・不要

（２節　材料）

3．鋼材 (7.2.1)
※表7.2.1による　　・（　　）
形状・寸法　　※図面図示による

4．高力ボルト (7.2.2)
※トルシア形高力ボルト　　２種（S10T）
・JIS形高力ボルト　　JIS B1186（F10T）
・溶融亜鉛めっき高力ボルト　　１種（F8T相当）

5．普通ボルト (7.2.3)
※表7.2.3による　　・（　　）

6．アンカーボルト (7.2.4)
材質　　・構造用アンカーボルト　　※JIS G3138 の SNR400
・（　　）
・建方用アンカーボルト　　※JIS G3101 の SS400
・（　　）
ターンバックル胴　　※割枠式　　・（　　）
ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・（　　）

7．ターンバックル (7.2.6)
※図面図示による　　・（　　）

8．デッキプレート (7.2.7)
・床型枠用鋼製デッキプレート　6.8.3（c）による

（３節　工作一般）

9．製作精度 (7.3.3)
※（社）日本建築学会「建築工事標準仕様書6　鉄骨工事　付則6.
鉄骨精度検査基準」による
・（　　）

10．仮組 (7.3.10)
※実施しない　　・実施する

11．溶接部の試験 (7.6.11)
（６節　溶接接合）

試験の種別	試験箇所	試験数	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	検査水準 ※第1水準　・図示 AQL ※4.0%　・2.5%	※7.6.11（b）による ・図示
・放射線透過試験			
・マクロ試験			

（７節　スタッド溶接及びデッキプレート溶接）

12．デッキプレートの溶接 (7.7.8)
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合
※アークスポット又は隅肉溶接　　・（　　）
合成スラブとして使用する場合
※焼抜き栓溶接　　・（　　）

（８節　錆止め塗装）

13．塗料の種別 (7.8.3)（表18.3.1）
ＳＲＣ造の溶接された鋼製スリーブの内面
※表18.3.1　鉄鋼面錆止め塗料の種別　B種
・（　　）
耐火被覆材の接着面
・（　　）

（９節　耐火被覆）

14．耐火被覆材の種別及び性能 (7.9.2)
・ラス張りモルタル塗り　　・耐火材吹付け　　・耐火板張り
※所要性能は図面図示による　　・（　　）

（１０節　工事現場施工）

15．建方精度 (7.10.2)
※建方精度はJASS６付則６「鉄骨精度検査基準」付表５「工事現場」による
・（　　）

16．アンカーボルトの設置 (7.10.3)(表7.10.1)(表7.10.2)
建方用アンカーボルトの保持および埋込工法
・A種　　※B種　　・C種
柱底均しモルタルの工法
※A種　　・B種　　・（　　）

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1．補強コンクリートブロック積み
種類　※ＪＩＳ　Ａ　５４０６　の空洞ブロック１６　・（　　）　（８．２．２）
厚さ　・（　　）

2．コンクリートブロック帳壁及び塀
種類　※「標仕」表８．３．１による　・（　　）　（８．３．２）
厚さ　・（　　）

3．ＡＬＣパネル
種類　※ＪＩＳ　Ａ　５４１６　（８．４．２）（表８．４．３）（表８．４．４）

種　類	単位荷重（Ｎ／㎡）	厚さ（mm）	取付け工法（種別）
○外壁パネル	・（　　）	※１００ ・（　　）	・Ａ　・Ｂ　・Ｃ
・間仕切パネル	・（　　）		・Ｂ　・Ｃ　・Ｄ　・Ｅ
・屋根パネル	・（　　）		※「標仕」８．４．６による
・床パネル	・（　　）	・１００　・１５０	

床パネルの耐火性能　・要　　・不要

4．押出成形セメント板
※厚物（厚さ５０mm以上）　（８．５．２）（表８．５．１）（表８．５．２）
種類　※ＪＩＳ　Ａ　５４４１

施工箇所	表　面　形　状	厚さ（mm）	工　法	耐火性能
・外　壁	※フラットパネル	・５０　・６０　・（　）	・Ａ種 ・Ｂ種	※有り （　　） ・無し
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０　・（　）		
	・タイルベースパネル	・６０　・（　）		
・間仕切り	※フラットパネル	・５０　・６０　・（　）	・Ｂ種 ・Ｃ種	※有り （　　） ・無し
	・デザインパネル（図示）	・５０　・６０　・（　）		
	・タイルベースパネル	・６０　・（　）		

・製造所（　　）同等以上　・評価名簿による
・薄物（厚さ５０mm未満）
種類　※ＪＩＳ　Ａ　５４４１

施　工　箇　所	表　面　形　状	厚さ（mm）	耐火性能
	※フラットパネル ・デザインパネル（図示）	・（　　）	※無し ・有り（　　）

・製造所（　　）同等以上　・評価名簿による

9 防水工事

1．アスファルト防水
（表９．２．３～表９．２．８）

施　工　箇　所	種　別	防水層の押さえ	備　考

2．改質アスファルトシート防水
アスファルトの種類　※３種　・（　　）　（９．３．２）
屋根保護防水断熱工法の断熱材及び厚さ
※ＪＩＳ　Ａ　９５１１　押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂのスキン層付き
厚さ　※２５　・（　　）
防水立上がり部の保護材
・乾式保護材　※押出成形セメント板　厚さ（　mm）　・（　　）
・防水層保護れんが　※ＪＩＳ　Ｒ　１２５０（普通れんが）　・（　　）
種類　・ＡＳ－１　　・ＡＳ－２
（表９．４．１）

		厚　さ	仕上げ塗料塗り（露出の場合）
	・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・（　）	※カラー　　・シルバー
	○Ｓ－Ｆ２	※2.0　・（　）	
	・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・（　）	※カラー　　・シルバー
	・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・（　）	
	・	・　・（　）	

3．合成高分子系ルーフィングシート防水

4．塗膜防水
（表９．５．１～表９．５．２）

施　工　箇　所	種　別	備　考
	・Ｘ－１　・Ｘ－２	仕上げ塗料塗り　※カラー　・シルバー
	・Ｙ－１　・Ｙ－２	種別Ｙ－２における保護層　※適用する　・適用しない

種別Ｘ－１における脱気装置　※図面図示による　・種類（　　）・設置数量（　）

5．シーリング用材料
「標仕」表９．７．１による。
接着性試験　※簡易接着性試験
・引張接着性試験（部位　　）

6．施工
次表のとおりとする。

（１）延べ面積が５００㎡以上の建築物 （２）特殊な用途等に係る建築物で、高度な防水技術を要するものと監督員が承諾する場合	防水施工業者は建設業法第３条の許可（防水工事業）を受けている者で、（社）福岡県防水工事業協会会員又は、これと同等以上の施工責任が認められる者から選ぶこと。
（３）（１）、（２）以外の場合	防水施工工事業者は建設業法第３条の許可（防水工事業）を受けている者から選ぶこと。

7．保証年限
防水保証年限は、引渡しの日から次表のとおりとする。
保証については防水工事業者が（社）福岡県防水工事業協会会員の場合は、「請負業者」「防水工事業者」「（社）福岡県防水工事業協会」の連盟保証とする。

保証年限（年）	防　水　の　種　類
１０	アスファルト防水（Ａ－１，２、ＡＩ－１，２、Ｂ－１，２、ＢＩ－１，２、Ｄ－１、常温工法）、改質アスファルト防水（ＡＳ－１、ＡＳ－２）、シート防水（Ｓ－Ｆ２）、塗膜防水（Ｘ－１、２、Ｙ－１、２）
７	シート防水（Ｓ－Ｆ１、Ｓ－Ｍ１、Ｓ－Ｍ２）
５	アスファルト防水（Ｄ－２）、シート防水（エチレン酢ビ系）、塗膜防水（アクリルゴム系）

8．その他の防水

施　工　箇　所	種別・工法	保証年限（年）	備　　考

10 石工事

1．屋内の床の清掃
汚れ防止及びつや出しワックス　※使用する　（１０．１．５）

2．材　料
（１０．２．１）（１０．７．２）（１０．７．３）（表１０．２．１）（表１０．２．２）
壁及びその他（床を除く）の石材　※１等品　・（　　）

施　工　箇　所	種類・産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類	備　考

・テラゾブロック及びテラゾタイル
種石の種類　　※大理石　　・（　　）
種石の大きさ　　※１．５～１２mm　　・（　　）
表面仕上げ　　※本磨き　　・（　　）

3．取付金物
・外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物　（１０．２．２）
材質　　※ＳＳ４００　　・（　　）
寸法　　※Ｌ－７５ｘ７５ｘ６　　Ｌ＝１００又は１５０mm　（Ｂ種錆止め）　・（　　）

・乾式工法用金物　　材質　※ＳＵＳ３０４　（表１０．２．４）
・スライド方式　　・ロッキング方式　　・（　　）
・その他金物の材質、形状及び寸法
・（　　）　・（　　）　・（　　）

4．外壁湿式工法
石材の厚さ　※有効厚さ　２５mm以上　・（　　）　（１０．３．２）
石裏面処理　・行う　・行わない　　裏打ち処理　・行う　・行わない
下地ごしらえ　※流し筋工法　・（　　）
目地幅　※６mm以上　・（　　）　（１０．３．３）

5．内壁空積工法
石材の厚さ　※有効厚さ　２０mm以上　・（　　）　（１０．４．２）
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法　・あと施工アンカー工法　（１０．４．３）

6．乾式工法
石材の厚さ　外壁　※有効厚さ　３０mm以上　・（　　）　（１０．５．２）
内壁　※有効厚さ　２５mm以上　・（　　）
石裏面処理　・行う　・行わない　　裏打ち処理　・行う　・行わない
目地幅　※８mm以上　・（　　）　（１０．５．３）

7．床及び階段の石張り
石の品質　※２等品　（１０．６．２）（１０．６．３）（表１０．２．１）（表１０．２．２）

施　工　箇　所	種類・産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類	備　考
			※粗磨き　・本磨き	
			※粗磨き　・本磨き	

石裏面処理　・行う　・行わない
目地幅　屋内　・（　　mm）　　屋外　・（　　mm）

8．石裏の補強用モルタル　笠木、甲板等の乾式工法の場合は行う。　（１０．７．３）

9．製造所及び施工業者　・監督員の承諾による　　・（　　）同等以上

11 タイル工事

1．タイル
タイルの試験張り　※行わない　　・行う　（１１．２．１）
タイルの見本焼き　※行わない　　・行う

2．陶磁器質タイル張り及びタイル型枠先付け
（１１．２．１）

施工箇所	形状・寸法	きじの質		うわぐすり		役物		色		見本焼き	備　考
		磁器	せっ器	陶器	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

下地及びタイルごしらえ　・ＭＣＲ工法　・目荒らし工法　・（　　）
壁タイル張りの工法
・（　　）
・タイル型枠先付け工法
種別　・タイルシート法（小口タイル、二丁掛タイル）　（１１．４．３）（表１１．４．１）
・（　　）

3．施工後の確認及び試験
※打診による確認　（１１．１．５）
※接着力試験

12 木工事

1．木材
代用樹種を適用しない箇所（　　）　（１２．２．１）（表１２．２．３）
木材含水率　※Ａ種　・Ｂ種　　造作材の品質　※Ａ種　・Ｂ種

2．集成材
・集成材　（１２．２．１）

施　工　箇　所	品　質　等	樹　種　等	備　　考

ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆のもの　・（　　）

3．床張り用合板
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆のもの　・（　　）　（１２．２．１）

4．接着剤
フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆のもの　・（　　）　（１２．２．２）

5．木材保存剤
木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は、クロルピリホス等を含有しない非有機リン系とする。
環境に配慮した表面処理防腐剤　種類・品質（　　）　（１２．３．１）
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥をおこなう。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対応し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。

防蟻処理
「防除施工標準仕様書並びに安全管理」（（社）日本しろあり対策協会）による。
保証期間５年、専門業者の責任施工とし、報告書を提出すること。
施工箇所　・図示による　　・（　　）
工事区分　※予防工事　　・予防工事と駆除工事
土壌処理の方法　・帯状散布処理法　　・面状散布処理法
・加圧注入処理法　　・（　　）
木材処理の方法　・吹付処理法　　・塗布処理法　　・浸漬処理法
・穿孔注入処理法　　・穿孔吹付処理法　　・（　　）

13 屋根及びとい工事

1．長尺金属板葺
（１３．２．２）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）	備　考
・立平葺H-45	※塗装溶融５５%アルミニウム	・0.5mm	
・平葺200	亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯	・0.5mm	

施工業者　※監督員の承諾による　　・（　　）同等以上

2．折板葺
（１３．３．２）

材　　種	形式による区分	山高及びピッチ	板厚（mm）	耐力による区分
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板	※重ね形又ははぜ締め形	山高（　） ピッチ（　）		（　　）種
・				

軒先面戸板　　※有り　　・無し
施工業者　※監督員の承諾による　　・（　　）同等以上

3．粘土瓦葺
（１３．４．２）

種　類	大きさ・寸法等	備　考
・		
・		

棟の工法　　※図面図示による　・（　　）　（１３．４．３）

④ とい
（１３．５．２）（表１３．５．１）

材　種	径	施　工　箇　所	備　考
・配管用鋼管			
・ステンレス鋼管			SUS304　厚（　）
・硬質塩化ビニル管（ＲＦ－ＶＰ）			
・（　　）			

とい受金物　※ステンレス製　　・鋼製（亜鉛めっき）　（表１３．５．３）
防　　露　※「標仕」表１３．５．４により行う　（１３．５．２）
・次の面所には行わない（　　）

5．コロニアル葺き

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）	備　考
※横葺	※平形屋根用スレート	※5.2mm	

施工業者　※監督員の承諾による　　・（　　）同等以上

14 金属工事

1．ステンレスの表面仕上
（１４．２．１）

種　　類	施　工　箇　所	備　　考
※ＨＬ程度	・下記以外の見え掛かり全て	
・Ｎｏ．２Ｂ程度		
・鏡面仕上げ		
・		

2．アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
（１４．２．２）（表１４．２．１）

種　　類	施　工　箇　所	備　　考
・Ｂ－１種		無着色
・Ｂ－２種		・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー
・		

3．鉄鋼の亜鉛めっき
（１４．２．３）（表１４．２．２）

施　工　箇　所	亜鉛めっきの種別	備　　考
	溶融　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	ＪＩＳ　Ｈ　８６４１
	電気　・Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種	ＪＩＳ　Ａ　８６１０

4．軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　（１４．４．２）（表１４．４．１）
屋内　※１９形　　・２５形　　・（　　）
屋外　・１９形　　※２５形　・（　　）
屋外における野縁等の間隔　（　　）　（１４．４．３）

5．軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類　（１４．５．２）（表１４．５．１）
※「標仕」表１４．５．１による　　・図示による

6．金属成形板張り
（１４．６．２）

材　種	製　法	材　種	寸法（mm）	厚（mm）	表面処理
・スパンドレル系	・押出し ・ロール	※アルミウム ・（　）			・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種（　　） ・
・パネル系	※フ゜レス				

7．アルミニウム製
伸縮調整継手　・設ける　　・設けない
部材の種類　・２５０形　・３００形　・３５０形　・（　　）（表１４．７．１）
表面処理　　※Ａ－１種又はＢ－１種　・（　　）　（１４．７．２）（表１４．２．１）
棟上避雷導体システム　※無　　・有

8．手すり及びタラップ
（１４．８．２）（１４．８．３）

種　類	材料の種別	表　面　処　理
・手すり	※ステンレスＳＵＳ３０４	※ＨＬ程度　・鏡面仕上げ　・（　　）
	・鉄	亜鉛めっき　外部　※Ｃ種 内部　※Ｅ種
・タラップ	※ステンレスＳＵＳ３０４	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種 ・（　　）

9．確認試験
あと施行アンカーの引抜き耐力の確認試験　（１４．１．３．（４））
・行う（　　）　・行わない

備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A-1	NON	A－０３
図面名称：特記仕様書（２）	A-3	NON	日付

15 左官工事

1．防火材料など

屋内の壁及び天井の仕上げ材は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けた防火材料とする。
（１５．５．２）（表１５．５．１）（１５．５．６）

2．仕上塗材仕上げ

種　類	呼　び　名	仕上げの形状	工　法	備　考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ・外装薄塗材Ｅ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装材薄塗材Ｓ ・内装薄塗材Ｃ ・内装薄塗材Ｌ ・内装薄塗材Ｓｉ ・内装薄塗材Ｅ ・内装薄塗材Ｗ	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく ・刷毛引き	・吹付け ・ローラー ・こて塗り	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ ・内装厚塗材Ｃ ・内装厚塗材Ｌ ・内装厚塗材Ｇ ・内装厚塗材Ｓｉ ・内装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	上塗材 ・外装厚塗材Ｃ ※適用 ・セメントスタッコ以外の塗材の場合 （　　） ・外装厚塗材Ｓｉ，Ｅ ・適用　・適用しない
○複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ○厚塗材ＲＥ ・複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材ＲＥ	・凸部処理 ・凹凸模様 ○ゆず肌状	○吹付け ・ローラー塗り	上塗材 ※水系アクリルつやあり ・水系ポリウレタンつやあり ・（　　） ＲＳの場合は 溶剤系ポリウレタンつやあり 耐候性　※３種 防水形の増塗材　※行う 溶剤系ポリウレタンつやあり
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	吹付け こて塗り	

※ホルムアルデヒドの放散量　Ｆ☆☆☆☆等級のもの・（　　）

3．ロックウール吹付け

（１５．８．２）

種　類	色彩	厚さ
・一般用　・（　　）	・着色　・原色	・１０　・１５　・２０　・（　）

※ホルムアルデヒドの放散量　Ｆ☆☆☆☆等級のもの・（　　）

16 建具工事

1．アルミニウム製建具

（１６．２．２～４）（表１６．２．１）

種　別	外部の面する建具	内部建具
※普通サッシ	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種（　　）	
・防音サッシ	性能　（　　）	
・断熱サッシ	性能　（　　）	
表面処理	・Ａ－１種　・Ａ－２種　※Ｂ－１種	※Ｃ－１種　・Ｃ－２種

2．網戸

◎外面納まりの可動式　・（　　）　（１６．２．３～４）
網の材種　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　○ステンレス製（　　）

3．鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能値　（１６．４．２）
※適用する（※Ａ－３　・　　）　・適用しない
亜鉛めっき鋼板のめっき付着量　※Ｚ１２又はＦ１２　・（　　）　（１６．４．３）
鋼板の厚さ　※「標仕」表１６．３．２による　・建具表による　（１６．４．４）

4．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット　※適用する（※Ａ－３　・　　）　・適用しない　（１６．５．２）
ビニール被覆鋼板　・適用する　・適用しない　（１６．５．３）
カラー鋼板　・適用する　・適用しない
召合わせ、縦小口包み板などの材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・（　　）

5．ステンレス製建具

材質　※ＳＵＳ３０４　表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・（　　）　（１６．６．２～５）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

6．木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　（表１６．７．１）（１６．７．２～４）
板　※普通合板　・天然木化粧合板　・特殊加工化粧合板
ホルムアルデヒドの放散量がＪＡＳで定める　Ｆ☆☆☆☆等級のもの・（　　）
ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）及びパーティクルボード
ホルムアルデヒドの放散量
※Ｆ☆☆☆☆等級のもの　・Ｆ☆☆等級のもの
かまち戸の樹種　かまち（スプルス）　鏡板（　　）
ふすまの上張り　・新鳥の子程度又はビニル紙程度　・鳥の子
フラッシュ戸の表面板の厚さ　※「標仕」表１６．７．６による　・（　）

7．建具用金物

見本品を監督員に提出して承諾を受ける。　（表１６．８．１）（１６．８．２～４）
マスターキー　※製作する（※新規 ○既存に合わせる）　・製作しない
建具金物の種類　（表１６．８．１）

種　類	品　質　・　規　格
モノロック 本締り付きモノロック シリンダ箱錠 本締り錠 ドアクローザ	評価名簿による。
棒健錠 ピボットヒンジ	
ピンジクローザ フロアヒンジ	評価名簿による。

8．自動ドア開閉装置

開閉装置の性能値　（１６．９．２～４）
スライディングドア用　※「標仕」表１６．９．１による　・（　　）
スイングドア用　※「標仕」表１６．９．２による　・（　　）
駆動力　※電気式又は電動油圧式　・（　　）
電源　※単相１００Ｖ（過電流保護装置付）　・（　　）
センサの種類　※熱線　・（　　）
補助センサ　※安全光線スイッチ１組　・（　　）
工事範囲　一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次測配線は本工事に含む。

9．重量シャッター

機能による種類　（１６．１１．２～４）
・一般　・防火（・外壁用　・屋内用）　・防煙
シャッターケース（防火、防煙以外の場合）　・設ける　・設けない　（１６．１１．２）
開閉機能による種類　（表１６．１１．１）
※上部電動式（手動併用）　電源※　φ　Ｖ　ｋｗ　以下（過電流保護装置付）
・上部手動式
耐風圧強度　・（　　）
防火、防煙シャッターの危害防止機構　※障害物感知装置　・シャッターの二段降下方式
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

10．軽量シャッター

開閉機能による種類　（１６．１２．２～４）（表１６．１２．１）
※手動式
・上部電動式（手動併用）　電源※　φ　Ｖ　ｋｗ　以下（過電流保護装置付）
耐風圧強度　・（　　）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

11．オーバーヘッドドア

セクション材料　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　（１６．１３．２）
・ファイバーグラスタイプ
開閉方式　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納方式　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形
・バーチカル形
ガイドレール　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）
耐風圧性能　・（　　）

12．ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示（建具表）による。　（１６．１４．２）
ガラス留め材　（１６．１４．２．（ｂ））（１６．１４．３）（表１６．１４．１）

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材（ＳＲ－１）　・グレイジングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材（ＳＲ－１）

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

17 カーテンウォール工事

⑱ 塗装工事

① 材料

屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
（１８．１．３）
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）

② 塗装業者

・（社）日本塗装工業会の会員　※監督員の承諾する塗装業者

3．床用塗料塗り

材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗　布　量　プライマー塗りのうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は０．５ｋｇ／㎡以上

4．防塵用塗料塗り

材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗　布　量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５ｋｇ／㎡以上

5．マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

6．屋内水系塗料塗り

屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りに適用する。

7．鉄鋼面つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種
（１８．８．４）

⑲ 内装工事

① 接着剤

壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）　（１９．２．２）

② ビニル床シート張り

（１９．２．２）（１９．２．３）

材　種	種　類	記号	色柄	厚さ	工　法	備　考
屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート	※発泡層のないもの	※ＮＣ	※無地	※２．５	※熱溶接	○Taraflex Multi-Use 6.2mm厚以上
	・発泡層のあるもの	・	○模様（木目）	○６．２	・突付け	
	・発泡層のあるもの		※無地	・	※熱溶接	

3．ビニル床タイル張り

（１９．２．２）（１９．２．３）

材　種	種　類	形　状	厚　さ
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル（半硬質） ・コンポジションビニル床タイル（硬質） ・ホモジニアスビニル床タイル	※３００角 ・（　）	※２ ・３ ・
	・帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）	※５００角	※２
	・帯電防止ビニル床タイル（パネルー体タイプ）	・（　）	・

帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）の接着剤は粘着剤離形とし、製造所の指定する製品とする。

4．ビニル幅木

材種　※軟質　・硬質　（１９．２．２）
厚さ　※２　・（　　）
高さ　※６０　・７５　・１００　・（　　）

5．カーペット敷き

・織じゅうたん（１９．３．２）（１９．３．３）（１９．３．４）（表１９．３．１）（表１９．３．２）

種　別	織　り　方	パイルの形状	色　柄	備　考
・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	※三越織り ・（　　）	※カットパイル ・ループパイル ・（　　）	※無地 ・柄物	・防虫加工品 人体帯電圧 ※３ｋｖ以下・（　）

下敷き材　※反毛フェルト（ＪＩＳ　Ｌ　３２０４）第２種２号（厚８）

・タフテッドカーペット　（１９．３．２）（１９．３．３）（１９．３．４）（表１９．３．２）

パイル形状	パイル長	工　法	備　考
・カットパイル	※５～７　・（　）	※全面接着工法	人体帯電圧
・マルチレベルループ	※４～６　・（　）	・グリッパー工法	※３ｋｖ以下
・レベルループパイル	※４　・（　）		
・カット、ループ併用	・（　　）		

・タイルカーペット　（１９．３．２）（１９．３．３）（１９．３．４）（表１９．３．２）

種　別	パイルの形状	寸　法	総厚さ	色柄	電気抵抗
※一種 ・二種	※ループパイル ・カットパイル	※５００角 ・（　）	※６．５ ・（５．５）	※無地 ・柄物	※適用しない ・１０　Ω以下

6．合成樹脂塗り床

（１９．４．２）（１９．４．３）（表１９．４．１～８）

種　別	仕　上　げ　の　種　類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）　・防滑仕上げ

ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）

7．フローリング張り

（１９．５．２～１９．５．７）（表１９．５．１～表１９．５．６）

類　別		樹　種	工　法　及　び　寸　法	塗　装
複　合	※複合１種フローリング ・（　　）	※なら ・	※釘どめ工法 ・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種 ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品
単　層	・（　　）	・	・（　　）	

ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）

8．せっこうボード その他ボード 及び合板張り

（１９．７．２）

材　種	種　別	張　り　方		厚　さ	備　考
・せっこうボード		・下地張り ・上張り	・突付け ・目透し ・継目処理工法	・９．５ ・１２．５ ・１５	
○化粧せっこうボード	○トラバーチン模様	○直張り	※突付け	※９．５	寸法 ※４５０×９１０　・９１０×９１０
	・木目模様 （裏桟付）	・直張り	※目透し	※９．５	専用軽鉄下地材付き
○無石綿けい酸カルシウム板			・継目処理	※６・８ ・１０・１２ ・	タイプⅡ（無石綿）
・木質セメント板	・硬質木モセメント板 ・普通木モセメント板	・打込み ・張付け ・敷込み		・２０ ※２５ ・３０	
・繊維板 ・パーティクルボード ・化粧吸音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ		・継目処理工法		・９．０	寸法 ※４５０×９１０　・９１０×９１０

ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）
遮音シール材　・アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド

（１９．７．２）（１９．７．３）

材　種	表　面　の　品　質	厚　さ	工　法
・普　通　合　板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ラワン程度　・（　　）	・５．５　・９　・１２	※Ａ種
	不透明塗料塗りの場合 ※しな程度　・（　　）	・５．５　・９　・１２	・Ｂ種
・天然木化粧合板		・（　　）	

壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）
パーティクルボード及びＭＤＦのホルムアルデヒド放散量　（１９．７．２）
※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）

9．断熱材

・打込み断熱材　（１９．９．２）

材　種	種　類	厚　さ
※ポリスチレンフォーム保温板	※Ｂ類２種ｂ・（　　） ・Ｂ類３種ｂ（接地部分）	※２５　・（３５）　・（　）
・硬質ウレタンフォーム	・１種２号　・（　　）	・（　　）

施工箇所
※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所
・（　　）
・現場発泡断熱材（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材）　（１９．９．３）
難　熱　性　※３級　・２級
厚　さ　・２５　・（　　）
施工箇所　※窓回り等の断熱補修部分　・（　　）
上記製品はノンフロン製品を使用するものとする。

材　種	品　質　・　規　格	厚　さ
・グラスウール断熱材	・グラスウール敷き込み３２Ｋ ・ガラスクロス（ＪＩＳ　Ｒ３４１４－Ｐ－１７Ａ）縫縫張	・１００

10．ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ　※４０　・６５　・８０
フローリング類　厚さ　※８０　・９５

⑳ ユニット工事

① フリーアクセスフロア

支持方式　○支持脚分離方式（体育館用）　・根太方式　・調整支持脚方式　（２０．２．２）
・（　　）
材　質　○金属系（・アルミ ○スチール）　・樹脂系　・（　　）
寸　法　※５００角　・（　　）角　高　さ　・（　　）
耐荷重性能　・（　　）Ｎ　耐震性能　・（　　）
表面仕上　・帯電防止ビニル床タイル　・タイルカーペット　○（屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート）
製造所（　　）問等以上

2．トイレブース

仕　様　（２０．２．５）
パ　ネ　ル　・メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板　・（　　）
部　材　・アルミ製　・ステンレス製　・（　　）
附属金物　※ステンレス製　・（　　）
足　形　状　※幅木型　・足金物型
形　式　・丁番吊　・中心吊

3．階段滑止め

・金属製　材　種　※ステンレス製（ＳＵＳ３０４）　・真鍮製　（２０．２．６）
形　式　※ビニルタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り　・タイヤなし
幅　※３５　・（　　）
取付け　※接着工法　・（　　）
・磁器製　幅　※６０　・（　　）

4．階段手すり

形　式	径又は幅	笠　木　受　付	備　考
・Ｏ型	・４０Φ～　５０Φ ・３５φ	※アルミ押出型材 ・（　樹脂製、タモ　）	
・Ｃ型	・４８～５５ ・６２～６５	※鋼　材 ・（　　）	
・Ｄ型	・３０×５０ ・２０×４０	・ステンレス	

5．床目地棒

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。　（２０．２．７）
※ステンレス製６×１２　・ステンレス製４×１２　・黄銅製４×１２
・ステンレス製３０×１０

6．黒板及びホワイトボード

※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する　（２０．２．８）
・図示による

7．鏡

縁　※なし　・あり（　　）　（２０．２．９）
ガラス厚　※５ｍｍ　・（　　）

8．表示

※図示による　（２０．２．１０）
・下記による

種　類	材　種	寸　法	取　付　方　法
・衝突防止表示	・ステンレス製市版品　・（　　）		
・非常用進入口の表示	・市販品　・（　　）		
・室名札	・ステンレス製　・（　　）	・（　　）	・面付　・持出し
・ピクトグラフ	・ステンレス製　・（　　）	・（　　）	・（　　）
・案内板	・ステンレス製　・（　　）	・（　　）	・（　　）
・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）
・（　　）	・（　　）	・（　　）	・（　　）

9．ブラインド

（２０．２．１２）

形　式	※横型ブラインド（ＪＩＳ　Ａ４８０１）	・縦型ブラインド
スラットの材種	※アルミニウム合金	・アルミニウム合金　・クロス
開閉方式	※ギヤ式　・コード式　・操作棒式	・１本操作コード　・２本操作コード
スラットの幅	※２５　・３５	・８０　・１００

10．ロールスクリーン

材種、品質等　（　　）　（２０．２．１３）

11．カーテン及び カーテンレール

（２０．２．１４）（表２０．２．１）

施工箇所	きれ地名称品質	ひだの種別	形　式	開閉装置
			・片引き　・引分け	・有　※無
			・片引き　・引分け	・有　※無
			・片引き　・引分け	・有　※無
			・片引き　・引分け	・有　※無

※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは３００ｍｍ以上とする。
カーテンレール
材種　※ステンレス製　・アルミニウム製　・鋼製
形状　※Ｃ型又はＤ型　・角型

12．ブラインドボックス及びカーテンボックス

材種　※アルミニウム製（既製品）　・鋼製　・（　　）
色彩　※シルバー　・着色　・（　　）
形状　※溝幅９０×深さ１５０　・溝幅（　　）×深さ（　　）

13．コーナービード

材種　※ステンレス製　・（　　）

14．天井見切縁

材　種　※アルミニウム押出型材　・塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　　）

⑮ 点検口

施工箇所	材　種	寸　法
天　井	※アルミニウム　・（　　）	○４５０×４５０　※６００×６００
床	※アルミニウム　・ステンレス	・３００×３００　◎６００×６００
	形式　・一般型　・簡易密閉型	○密閉型　・（　　）

16．くつふきマット

材種　※塩化ビニル製またはゴム製（受枠ステンレス製）
・硬質アルミニウム製（受枠硬質アルミニウム製）
・ステンレス製（受枠ステンレス製）

17．鋼製書架及び物品棚

鋼製書架　ＪＩＳ　Ｓ　１０３９の規格による。
鋼製物品棚　ＪＩＳ　Ｓ　１０４０の規格による

18．流し台ユニット

ステンレス流し台　仕様・寸法（　　）
コンロ台　（　　）
吊戸棚　（　　）
水切棚　（　　）

19．かぎ箱

※鋼製市販品　・３０組用　○６０組用　・１２０組用

20．木製家具

家具専門メーカーの製作品とする。

21．収納・収納家具

合板類
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）
ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＦＤ）及びパーティクルボード
ホルムアルデヒドの放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）

22．揮発性有機化合物の室内濃度の測定

指示した室のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。　（１．５．９）
測定する部屋
※現場説明書による　・図面図示による　・監督員の指示による　（　ヶ所）
測定方法
ホルムアルテ゛ヒト゛　※パッシブ型採取機器
トルエン・キシレン等　※パッシブ型採取機器

23．学校施設における ＶＯＣ等の測定

文部科学省「学校環境衛生の基準」（平成１４年２月５日改訂）により、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定を行う。　（１．５．９）

㉔ 施工中の安全管理

接着剤及び塗料の配布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる

25．その他

㉑ その他

① その他

各種国際競技団体公認品（FIVB国際バレーボール連盟・FIBA国際バスケットボール連盟
・BWF世界連盟バトミントンのうち２つ以上）とする。
ノンワックス、フリーメンテナンスの製品とする。
クリヤマジャパン㈱Taraflex Multi-Use 6.2mm厚以上同等品とする。

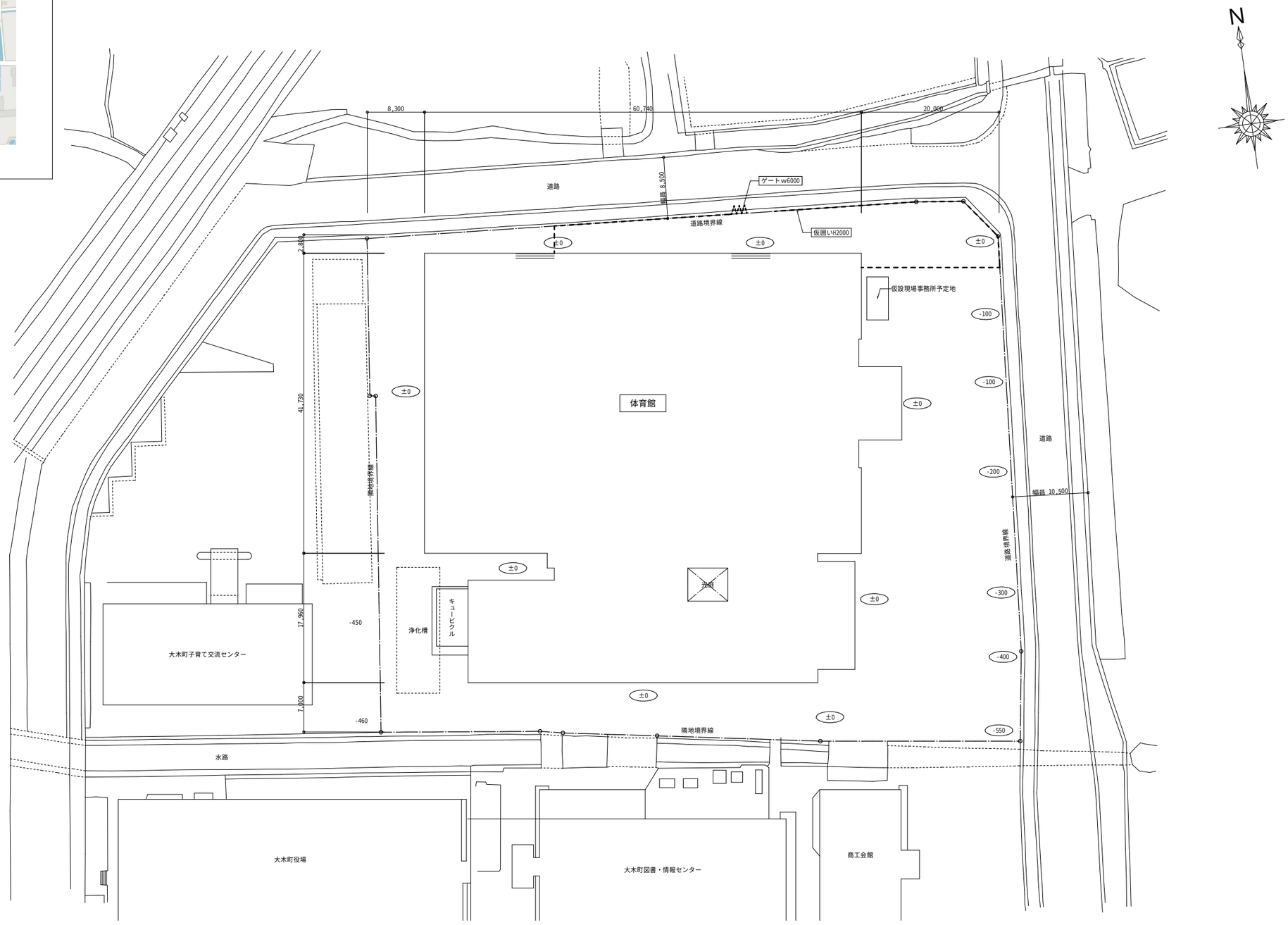
備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A－1	NON	A－04
図面名称：特記仕様書（３）	A－3	NON	日付

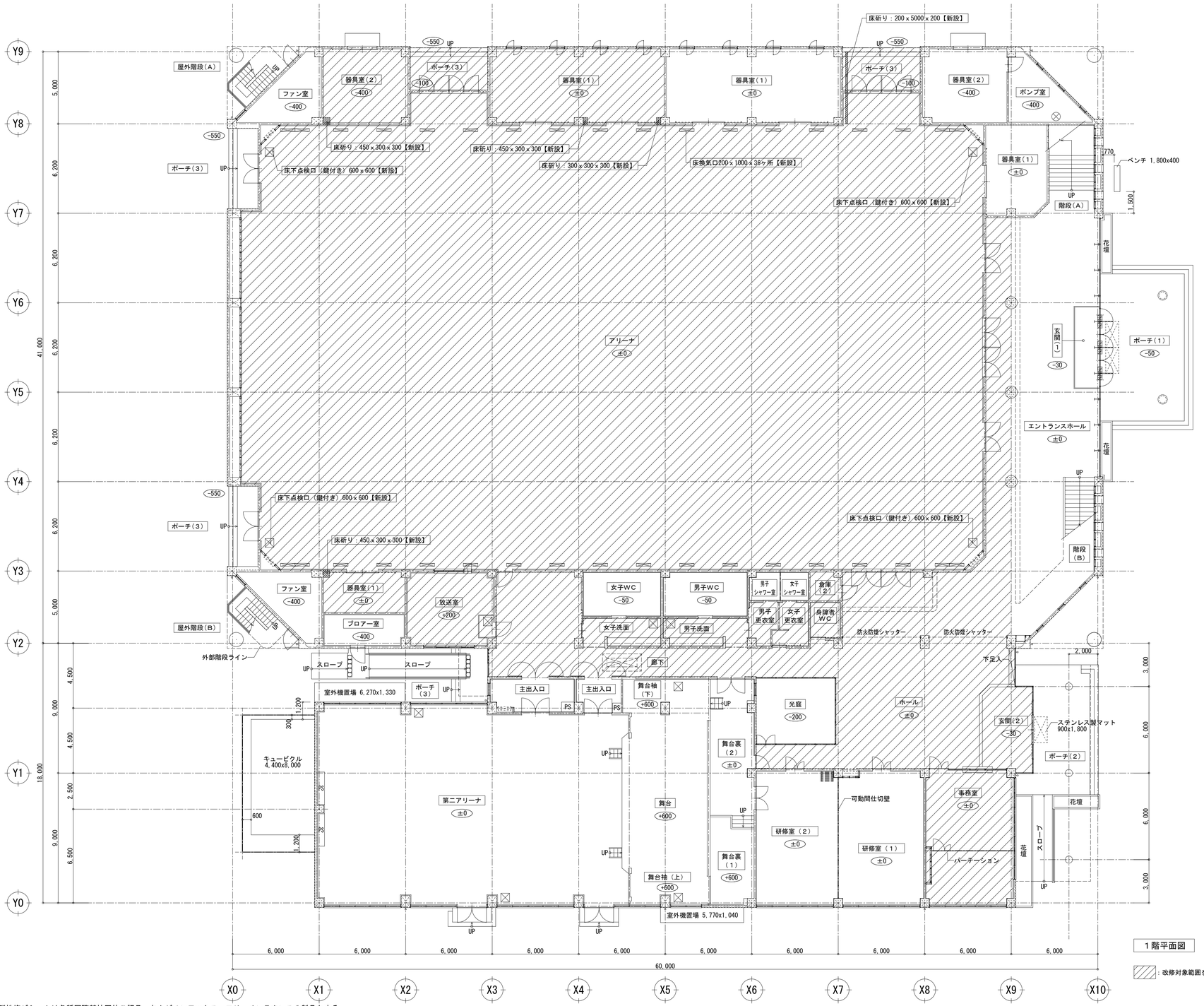
福岡県三潴郡大木町八町牟田 617-1

附近見取図 S=1/2000



配置図 S=1/300

備考	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office	〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院1-6-5 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11094号 一級建築士 大臣登録第112802号 河原 廣男	工事名称 大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A-1 1/300、2000	図面No. A－05
			図面名称 附近見取図・配置図	A-3 1/400、4000	日付 －

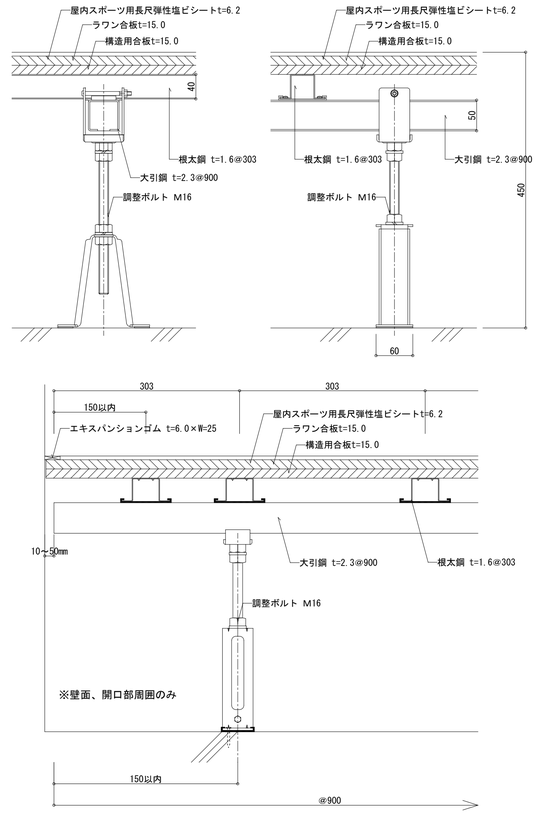


1階平面図

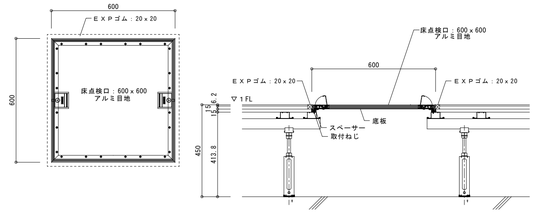
：改修対象範囲を示す。

・屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシートは各種国際競技団体公認品、およびノンワックス・フリーメンテナンスの製品とする。

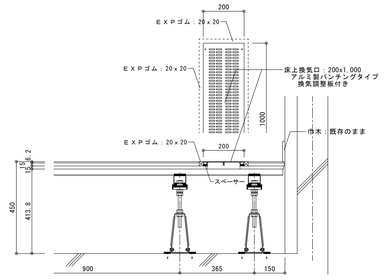
鋼製床組詳細図（改修後）（参考図）　1：5



床下点検口詳細図　1：5



床上換気口詳細図　1：15

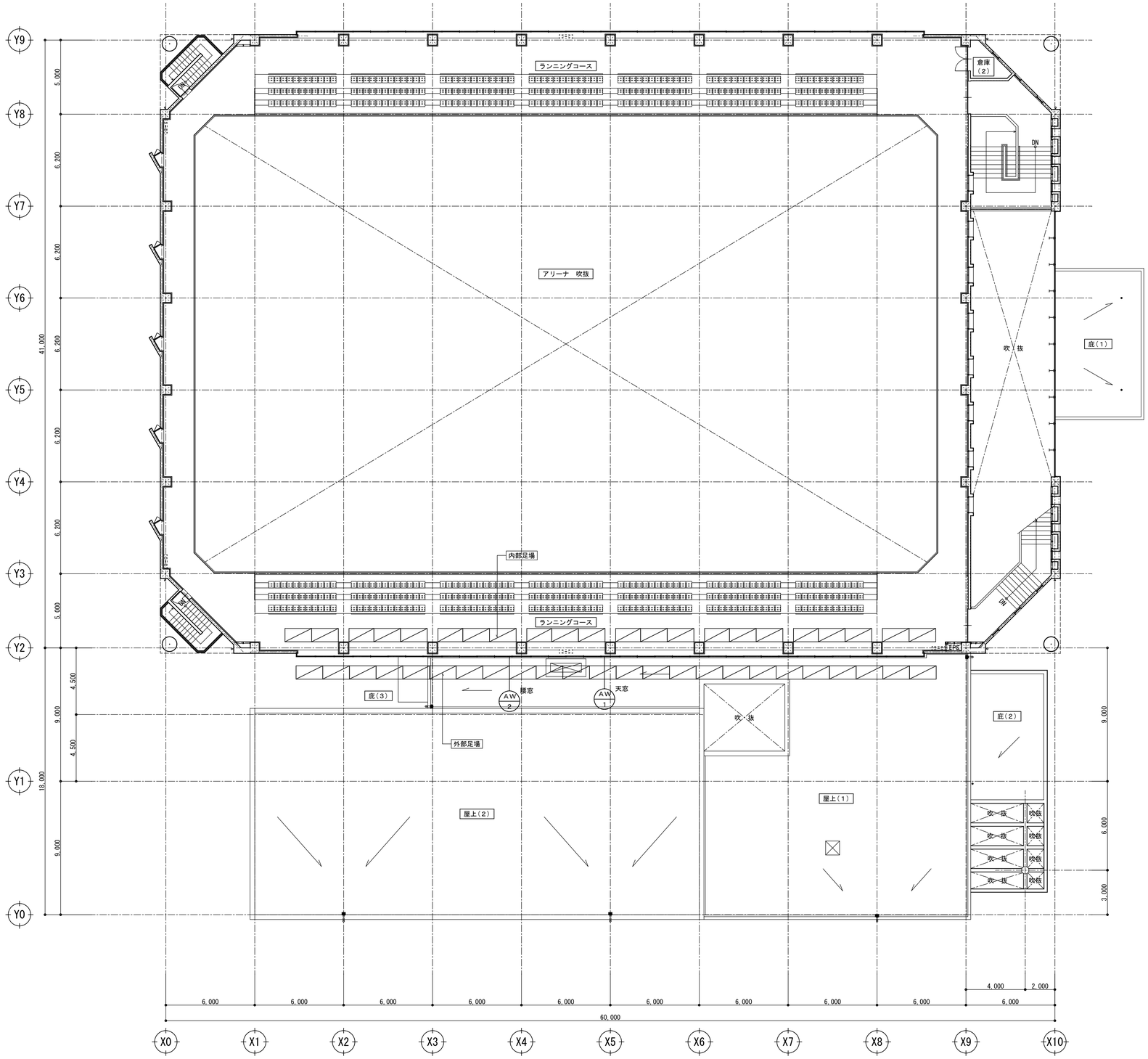


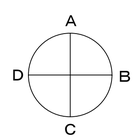
階	室名	区分	床 下地	床 仕上	床 高	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井高	廻縁	カーテンBOX	備考	区分	室名
1階	アリーナ	改修前	鋼製床組【撤去】(H=450)	合板 t=12.0の上大型積層フローリングt=18.0 ＵＣ3回塗【撤去】	±0	木製ＣＬ【既存のまま】	100	ＲＣ	木胴縁の上、米松塗装品(有孔)t=12.0(GW:32K t=25.0ガラスクロス押エ)目地15 @600【既存のまま】	軽量天井(ｼｽﾃﾑ天井)【既存のまま】	吸音ボード t=25 910×910【既存のまま】	12,000～12,500	塩ビ【既存のまま】	—	—	改修前	アリーナ
		改修後	鋼製床組【新設】(H=450)	構造用合板t=15.0＋ラワン合板t=15.0の上 屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシートt=6.2【新設】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	改修後	

備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A－1	1/150
図面名称	1階平面図	A－3	1/300
図面No.	A－06	日付	—

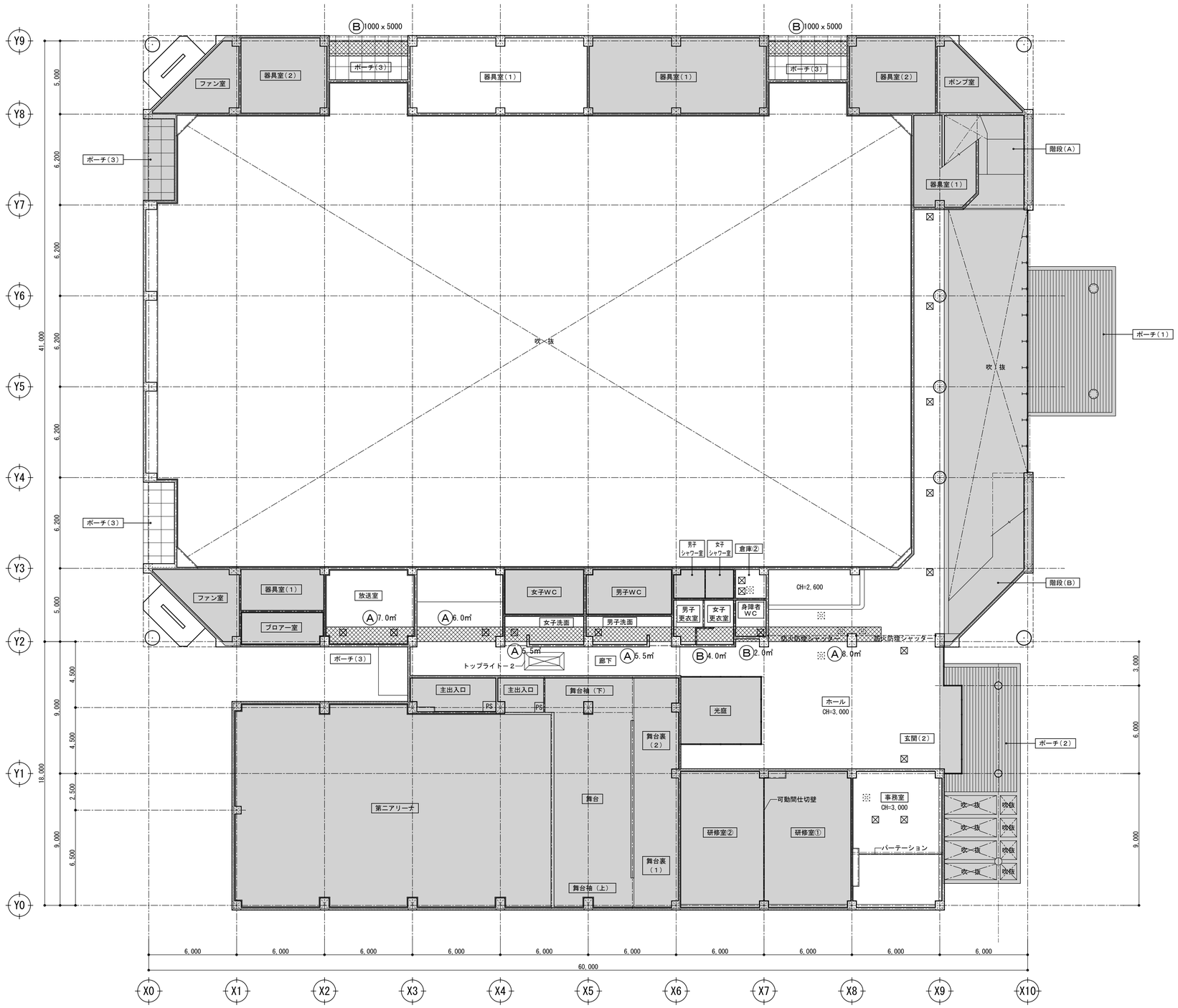




展開方向

２階平面図

備考						
	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office	〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5 一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号 一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男	工事名称	大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A－1	1/150	図面No. A－07
			図面名称	２階平面図	A－3	1/300	日付 －



１階　天井伏図（改修後）　S=1/150

凡　例		
Ⓐ	化粧石膏ボード t=9.5	【撤去新設】
Ⓑ	無石綿ケイ酸カルシウム板 t=6.0 ＥＰ－Ｇ 目スカシ貼:900×900 （アスベスト含有）	【撤去新設】
Ⓒ		
Ⓓ		
⊠	天井点検口450角	【17ヶ所：新設】
⊠	既存天井点検口	【既存のまま】
▭	今回改修工事対象外	

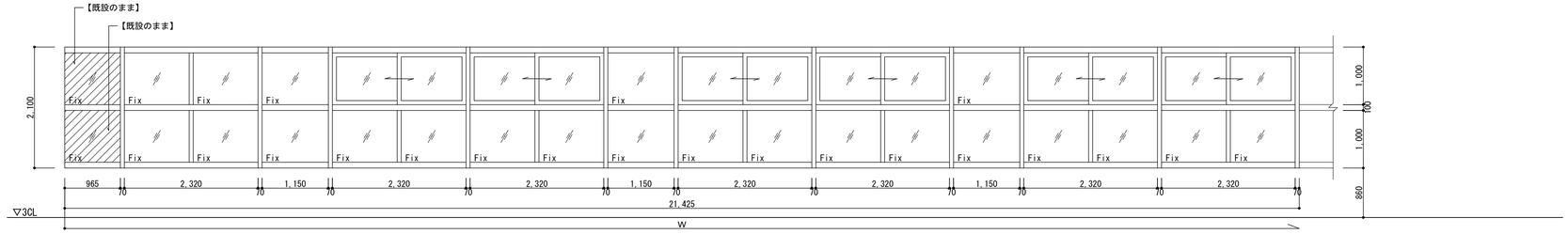
備考

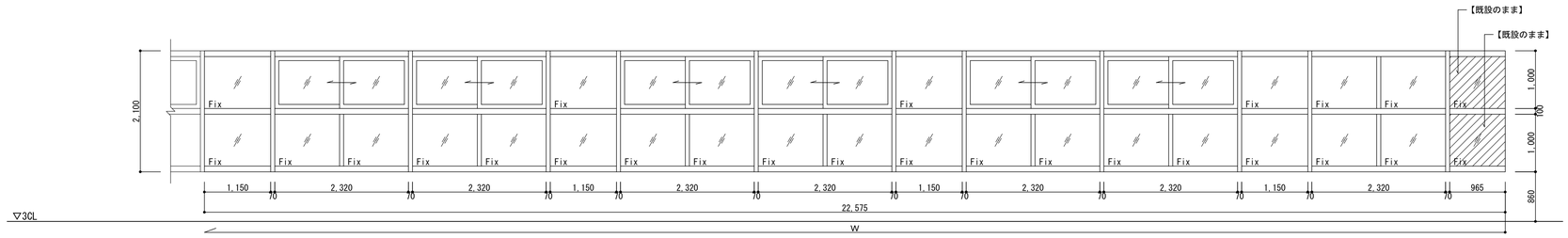
ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A－1	1/150	A－08
図面名称：天井伏図	A－3	1/300	日付：－

符　号	AW 1　アルミ製引違い窓（FIX窓付）	

姿　図



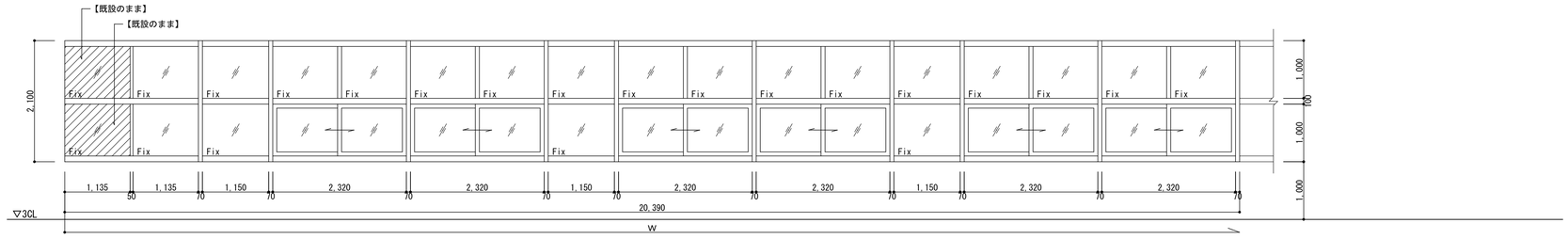


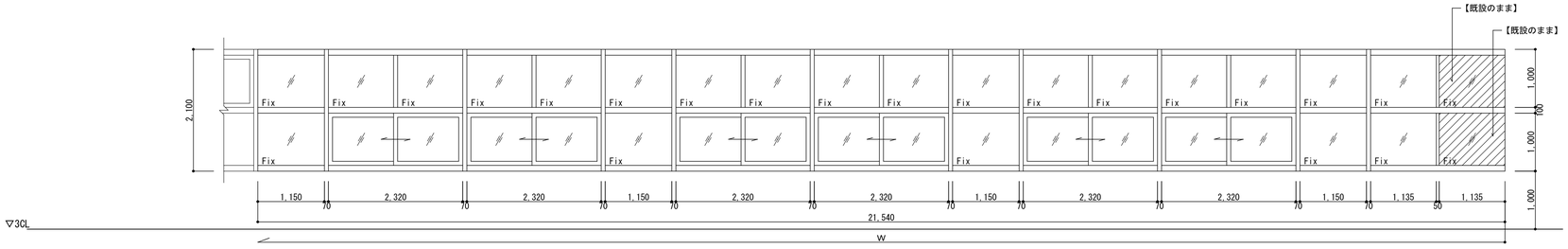
※W＝21,425＋22,575＝44,000

場所・数量	２Ｆアリーナ	1
材料・見込	アルミ	70
硝子・塗装	透明ガラス t=6.0【撤去】　→　真空ガラス　(Low-Et=3.0＋Air=0.2＋FLt=3.0【新設】（スペーシアクール同等品以上）	
金　物	オペレーター【南側：１箇所、北側：２箇所】	
備　考	―	

符　号	AW 2　アルミ製引違い窓（FIX窓付）

姿　図





※W＝20,390＋21,540＝41,390

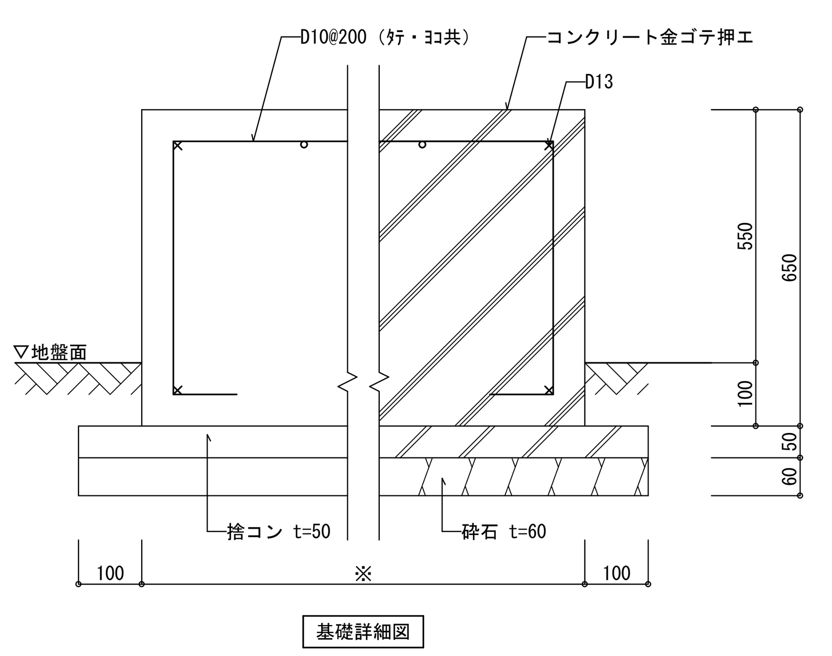
場所・数量	２Ｆアリーナ	1
材料・見込	アルミ	70
硝子・塗装	透明ガラス t=6.0【撤去】　→　真空ガラス　(Low-Et=3.0＋Air=0.2＋FLt=3.0【新設】（スペーシアクール同等品以上）	
金　物	クレセント、戸車【５箇所】	
備　考	―	

備考					
	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office　〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5　一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号　一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男	工事名称	大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A－1 1/50	図面No. A－０９
		図面名称	建具表	A－3 1/100	日付 ―

外構撤去図　1 : 100

外構新設図　1 : 100

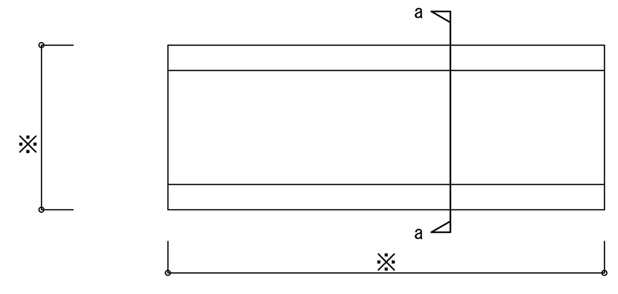
室外機・発電機・膨張タンク・給油口ユニットBOX基礎詳細図　1 : 10



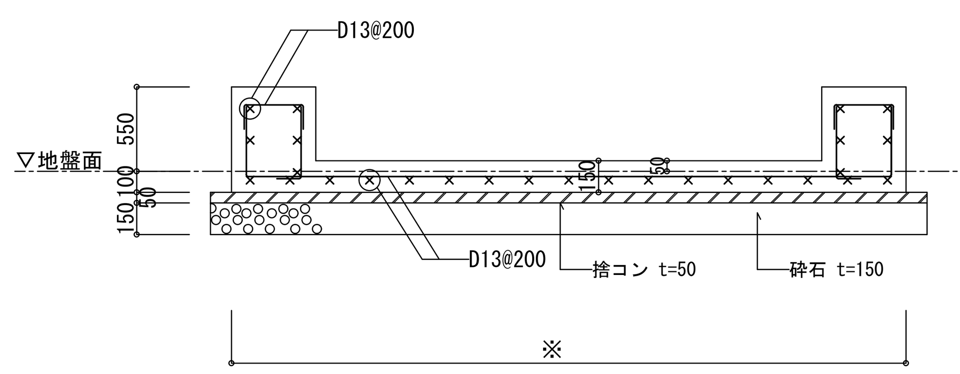
基礎詳細図

※特記事項
・コンクリート強度：Fc＝21N/mm2
・スランプ：15cm
・鉄筋：SD295A

室外機・キュービクル基礎詳細図　1 : 30・100



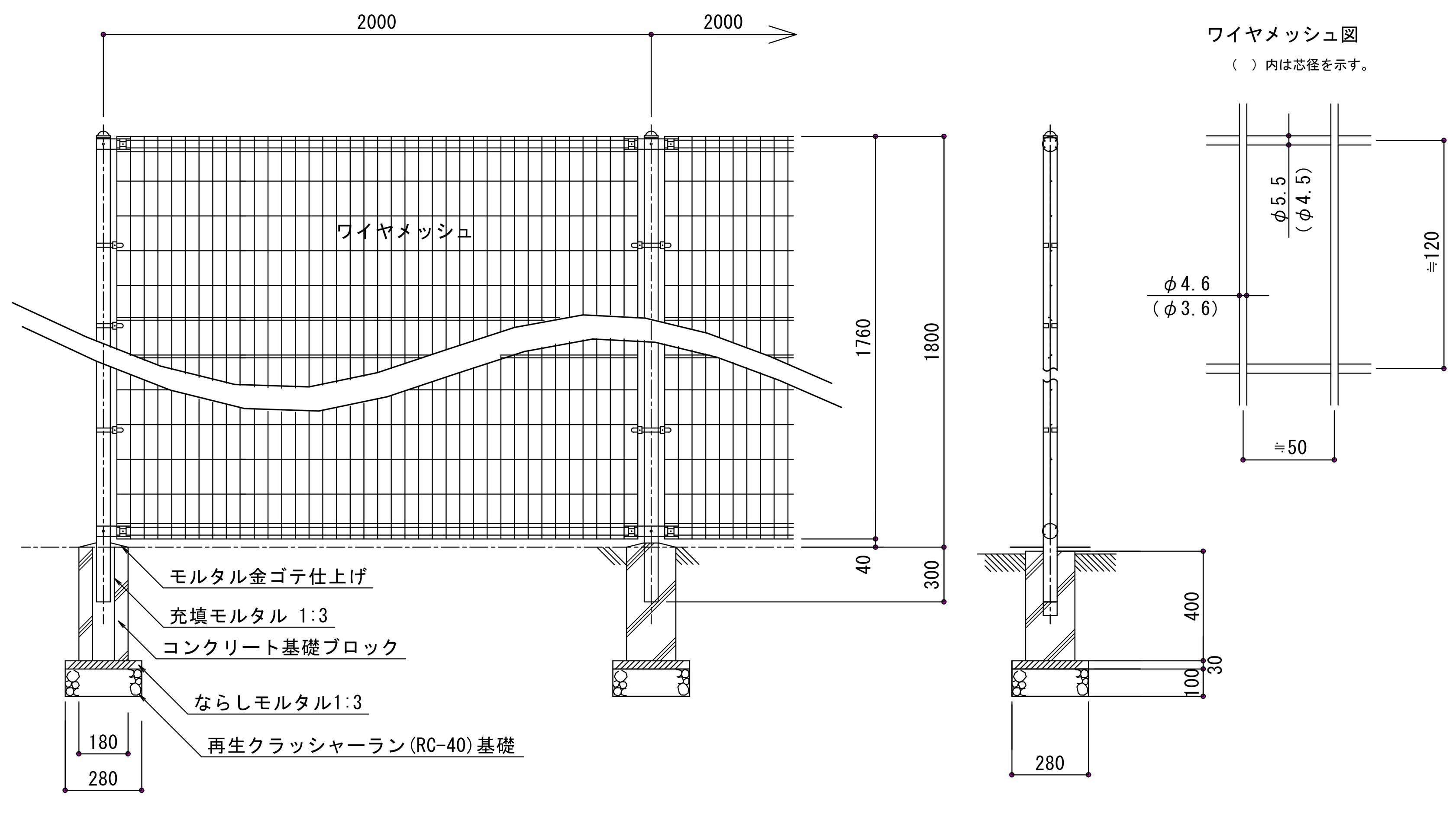
室外機・キュービクル基礎平面図　1/100



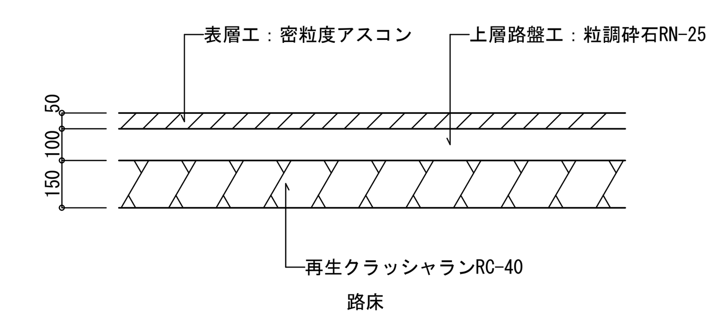
a － a 断面図　1/30

※特記事項
・コンクリート強度：Fc＝21N/mm2
・スランプ：15cm
・鉄筋：SD295A

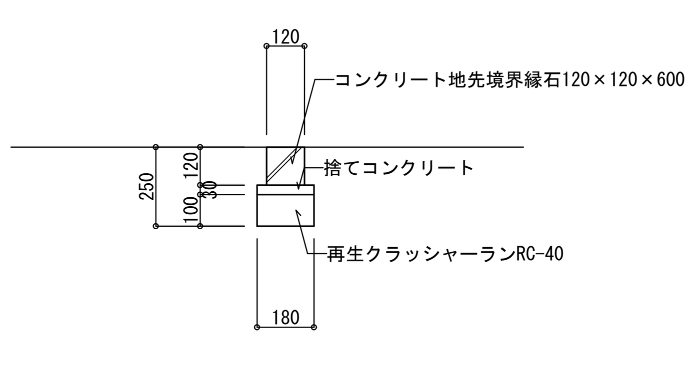
ネットフェンスH=1.80詳細図　1 : 20



アスファルト舗装（車道用）　1 : 20



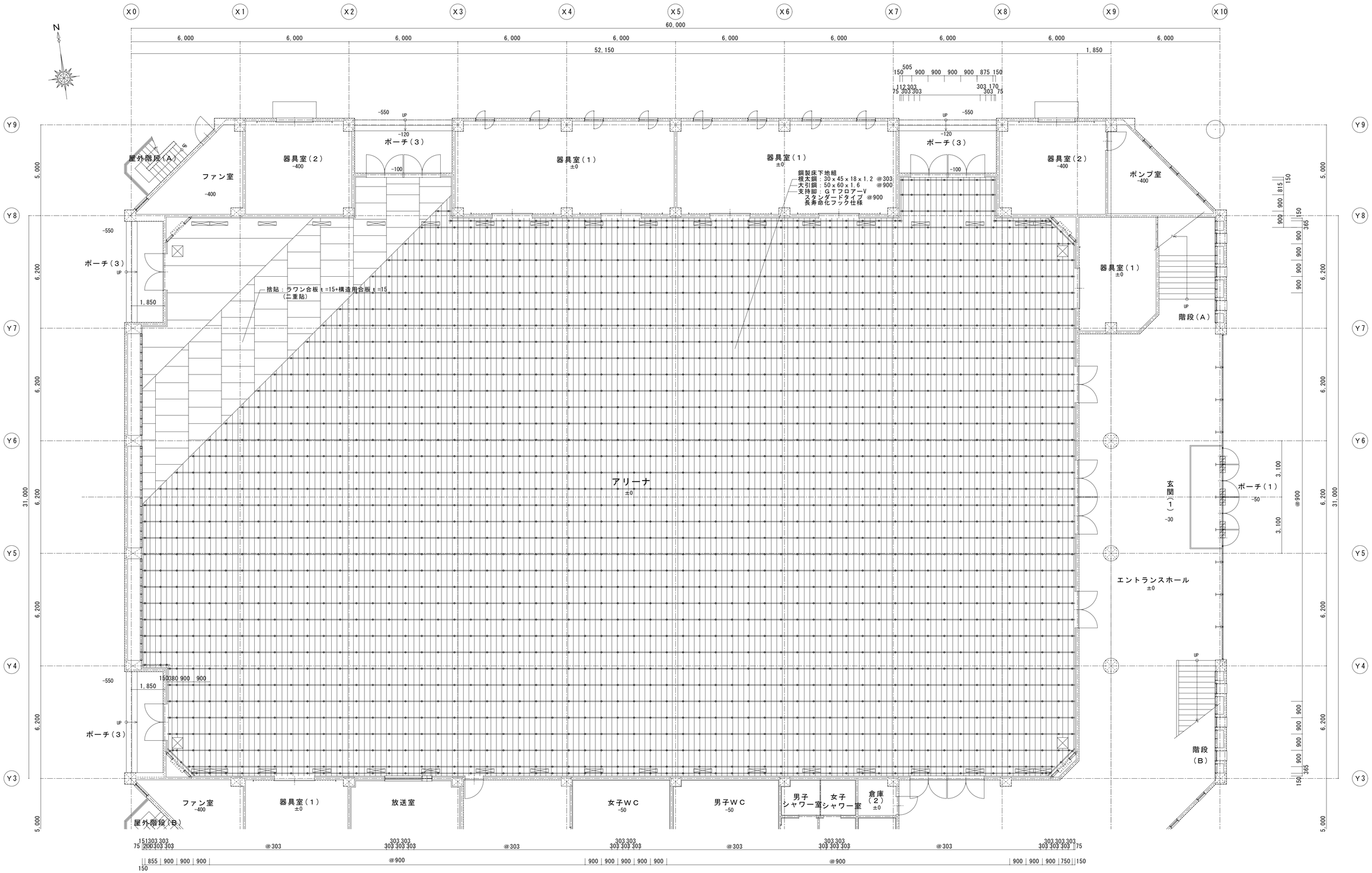
コンクリート地先境界縁石　1 : 20



備考	

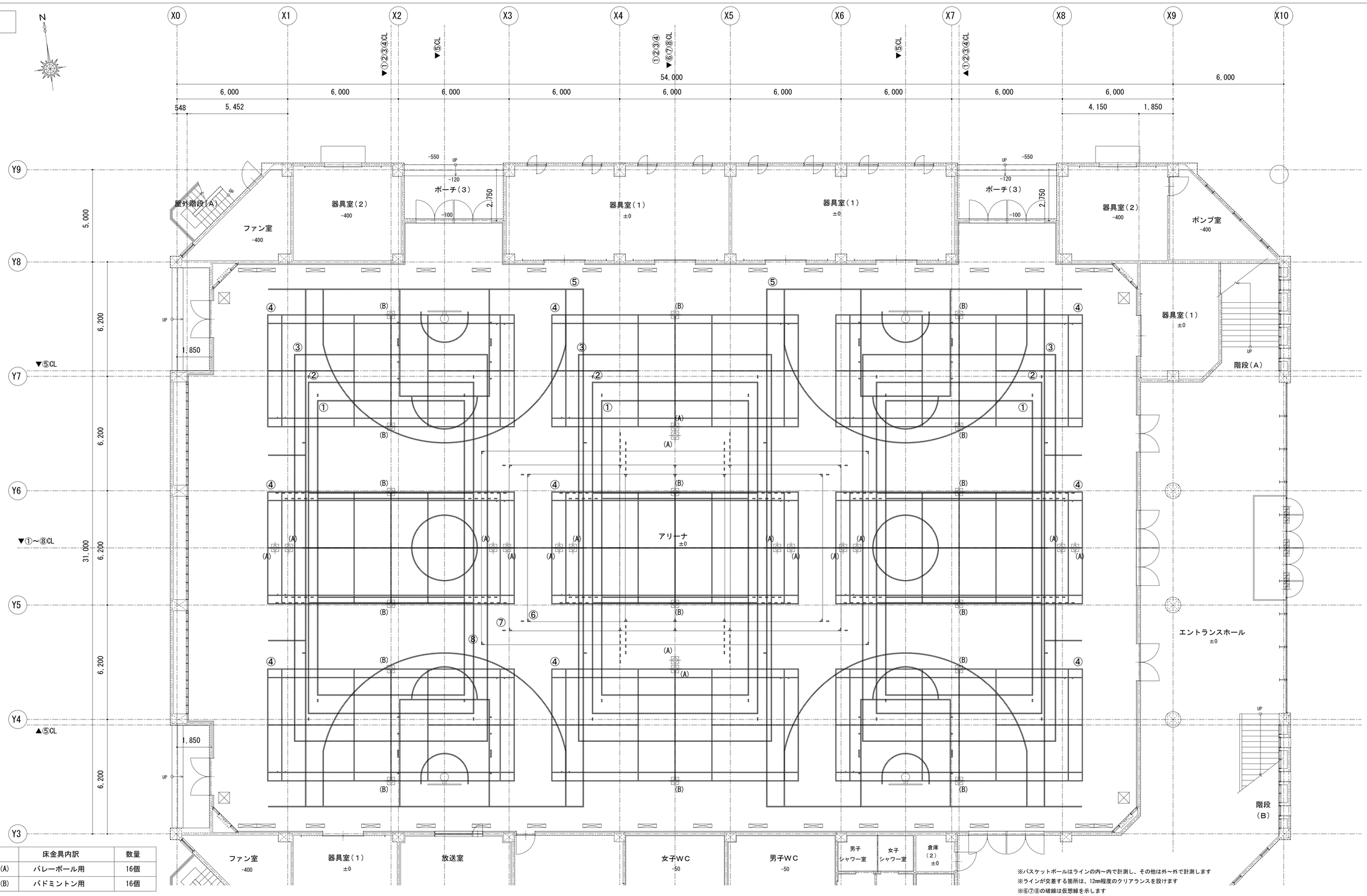
ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A－1	図示	A－10
図面名称：雑詳細図	A－3	図示	日付：－



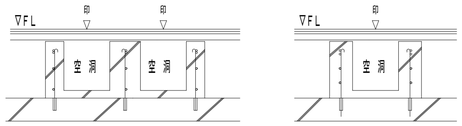
備考						
	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office	〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院1-6-5 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11094号 一級建築士 大臣登録第112802号 河原 廣男	工事名称 大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A-1	1/100	図面No. A－１１
			図面名称 床割付図	A-3	1/200	日付

参考図



表記		床金具内訳	数量
	(A)	バレーボール用	16個
	(B)	バドミントン用	16個

※バスケットボールはラインの内～内で計測し、その他は外～外で計測します
※ラインが交差する箇所は、12mm程度のクリアランスを設けます
※⑥⑦⑧の破線は仮想線を示します
※実際の色とは若干異なりますので、サンプルにてご確認願います



既存床金具をコア抜きにて撤去、既存基礎を再使用の上床金具を設置とする。

	種　別	寸　法	面数	色	線種	線幅	優先順位
①	バレーボール（６人制）(小学生)(サブ)	16,000 x 8,000	３面	白	実線	50mm	
②	バレーボール（６人制）(サブ)	18,000 x 9,000	３面	白	実線	50mm	
③	バレーボール（９人制）(サブ)	21,000 x 10,500	３面	橙	実線	50mm	
④	バドミントン	13,400 x 6,100	９面	緑	実線	40mm	

	種　別	寸　法	面数	色	線種	線幅	優先順位
⑤	バスケットボール	28,000 x 15,000	２面	青	実線	50mm	
⑥	バレーボール（６人制）(小学生)(メイン)	16,000 x 8,000	１面	白	ポイント	50mm	
⑦	バレーボール（６人制）(メイン)	18,000 x 9,000	１面	白	ポイント	50mm	
⑧	バレーボール（９人制）(メイン)	21,000 x 10,500	１面	橙	ポイント	50mm	

備考

ユニオン設計株式会社
Union Architects Office
〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5
一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号
一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男

工事名称	縮尺		図面No.
大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	A－1	1/100	A－１２
図面名称：コートライン図	A－3	1/200	日付

回転圧入鋼管杭特記仕様（１）

(1)杭仕様

１．杭　　種　　回転杭
２．工　　法　　回転圧入鋼管杭工法(NSエコパイル)
３．使用材料　　鋼管　　STK490
　　鋼材　　SS400
　　鉄筋
４．杭先端部　　螺旋形状先端開口型

(2)一般事項

１．本工法は下記による。これ以外の内容は公共建築工事標準仕様書および工法の認定内容による。
２．工法は「ＮＳエコパイル工法」とする。
３．杭施工に先立ち施工要領書を作成し監督員の承諾を受ける。
４．杭芯位置は設計図通り正確に芯出しを行ない、杭芯に地杭を打ち監督員の検査を受ける。
　杭芯ずれの許容差は100mmかつDp/4以内とする。許容範囲を越えた場合は監督員と協議の上、検討を行ない指示を受ける。
５．杭の傾斜の許容値は1/100以内とする。許容範囲を越えた場合は監督員と協議の上、検討を行ない指示を受ける。
６．監督員立ち会いのもと試験杭により支持層の確認を行ない杭長の最終決定を行なう。
７．杭施工時は、「深度、トルク値、貫入量、上載荷重」を確認しながら施工を行うものとする。
８．杭全数について、杭回転駆動装置の回転圧入時のトルクの変化をもって支持地盤を確認し、施工記録を提出する。

(3)試験杭

１．試験杭は、本杭の施工に先立ち、次の事項について確認する。
　(a)　設置地盤の状況
　(b)　杭回転圧入状況と土質性状図との整合性
　(c)　支持層の確認(杭回転駆動装置の回転圧入時のトルクの変化)
２．試験杭の本数、位置は監督員と協議の上決定する。
３．試験杭は本杭を兼ねることができるものとする。

(4)杭の建て込み
　打ち込み

１．杭の吊り込みは、施工機械や杭に損傷を与えないように十分注意する。
　また、吊り込んだ杭は、杭材の中心を杭芯に合わせるとともに、鉛直性を確認する。
２．杭は施工機械に装備してある振れ止め装置にて固定する。
３．杭の建て込み、振れ止め装置による固定が終了してから徐々に回転圧入を開始する。
４．杭の最終打ち止めは、支持層確認後1Dp以上の根入れを確認して行なう。
　但し、支持層確認は杭の回転圧入状況と土質性状図との整合性により監督員と協議の上決定する。
　また、杭回転駆動装置の回転圧入時のトルクが所定の値を超えた場合は監督員と協議の上打ち止める。

(5)杭の継手

１．杭の継手は溶接継手とする。
２．溶接部の検査方法は自主外観目視確認とする。

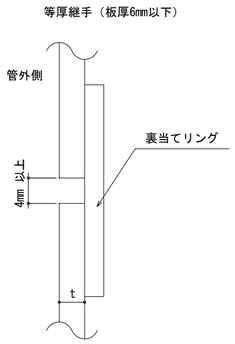
(6)杭頭の処理

１．杭頭は所定の高さに切断する。
２．杭頭が所定の位置より低い場合は、監督員と協議の上対応を決定する。

(7)受入検査

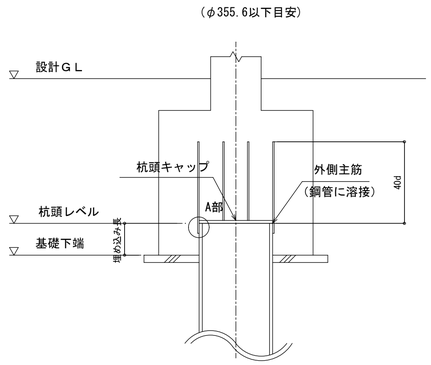
１．杭材を現場に受け入れた時に、杭径・羽根径・板厚等をコンベックス等及び目視により検査する。
　検査数量については、監督員と協議の上決定する。

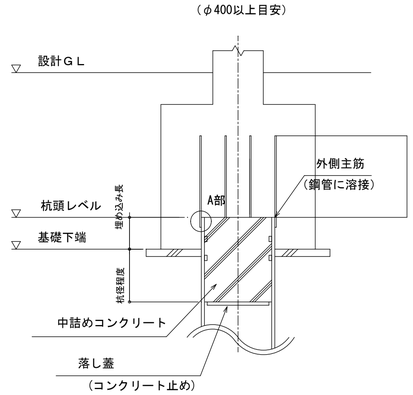
鋼管継手標準図



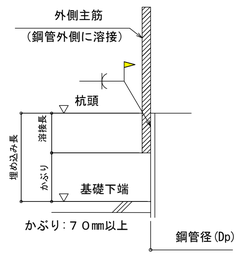
杭頭詳細図（参考）

杭頭仕様について　　杭頭の仕様については、あくまで標準的な例を示したものであり、詳細については設計者の判断に委ねられております。
　例えば、杭頭コンクリートの充填長さ・杭頭の基礎への埋め込み長さ・鉄筋径及び数量等については、作用する鉛直荷重や水平力、
　杭頭に想定する固定度等の設計条件に基づき、設計者の判断で決定して下さい。





Ａ部拡大図

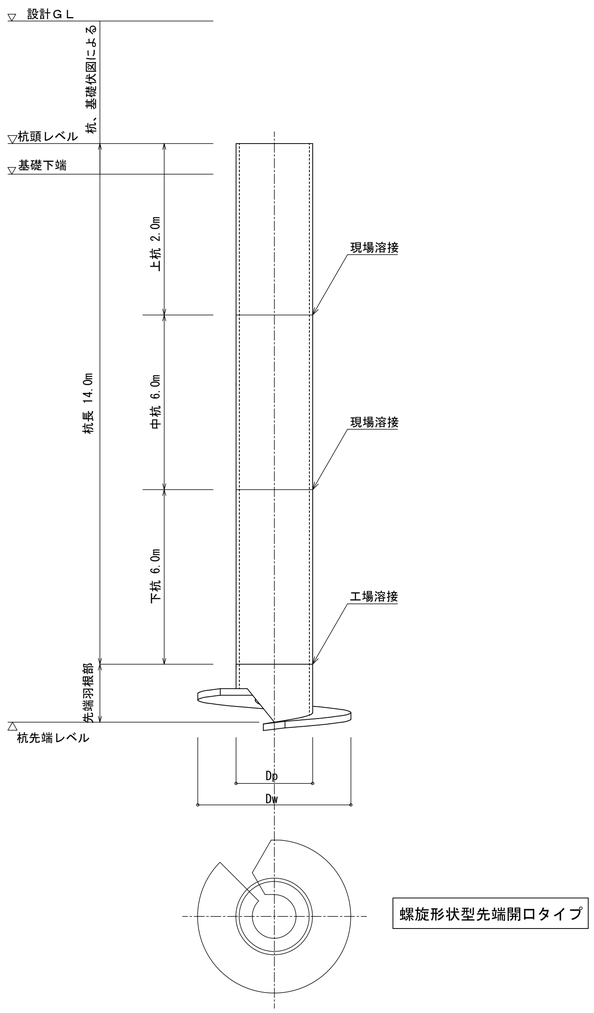


フレアー溶接の仕様は、設計者の指示による。

備考	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office	工事名称	大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺	A－1	NON	図面No.	A－１３
	〒810-0022　福岡県福岡市中央区薬院1-6-5 一級建築士事務所　福岡県知事登録第1-11094号 一級建築士　大臣登録第112802号　河原　廣男	図面名称	回転圧入鋼管杭特記仕様書（１）		A－3	NON	日付	

回転圧入鋼管杭特記仕様（２）

杭詳細図



【材料表】　回転圧入鋼管杭工法（NSエコパイル）

基礎名	記号	本数	杭径 軸径(Dp) (mm)	羽根 外径(Dw) (mm)	羽根 板厚(tw) (mm)	羽根 材質	杭先端ﾚﾍﾞﾙ 設計GL- (m)	杭頭ﾚﾍﾞﾙ 設計GL- (m)	杭長 (m)	長期許容支持力 (kN/本)		材長 (m)	板厚 (mm)	材質
地下タンク基礎	◎	4	216.3	432	19.0	SS400	16.50	2.50	14.0	122	上杭	2.0	5.8	STK490
											中杭	6.0	5.8	STK490
											下杭	6.0	5.8	STK490
											羽根部	0.250	5.8	STK490
チラーユニット基礎	⊗	4	216.3	432	19.0	SS400	14.30	0.30	14.0	122	上杭	2.0	5.8	STK490
											中杭	6.0	5.8	STK490
											下杭	6.0	5.8	STK490
											羽根部	0.250	5.8	STK490
発電機基礎	○	4	216.3	432	19.0	SS400	14.30	0.30	14.0	122	上杭	2.0	5.8	STK490
											中杭	6.0	5.8	STK490
											下杭	6.0	5.8	STK490
											羽根部	0.250	5.8	STK490
キュービクル基礎	⊘	4	216.3	432	19.0	SS400	14.30	0.30	14.0	122	上杭	2.0	5.8	STK490
											中杭	6.0	5.8	STK490
											下杭	6.0	5.8	STK490
											羽根部	0.250	5.8	STK490

杭本数合計　16　本

備考	ユニオン設計株式会社 Union Architects Office 〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院1-6-5 一級建築士事務所 福岡県知事登録第1-11094号 一級建築士 大臣登録第112802号 河原 廣男	工事名称 大木町総合体育館空調設備等機能改善工事	縮尺 A-1 NON	図面No. A－１４
		図面名称 回転圧入鋼管杭特記仕様書（２）・杭リスト	A-3 NON	日付